



茨城県

## 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成29年6月調査分)

	平成29年3月	平成29年6月	前回調査比
茨城県	47.7	<b>50.3</b>	+2.6
県北地域	46.4	51.7	+5.3
県央地域	48.3	51.7	+3.4
鹿行地域	50.0	51.3	+1.3
県南地域	48.3	50.8	+2.5
県西地域	45.3	45.8	+0.5

### 《景気の先行き判断DI》

	平成29年3月	平成29年6月	前回調査比
茨城県	50.3	<b>51.7</b>	+1.4
県北地域	48.2	52.1	+3.9
県央地域	56.4	55.1	△1.3
鹿行地域	52.2	50.0	△2.2
県南地域	50.0	54.2	+4.2
県西地域	44.4	47.0	+2.6

平成29年7月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	294 人	98.0%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	60 人	100.0%
県西地域	60 人	59 人	98.3%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

## 5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成29年6月調査の調査期間は、平成29年6月1日から平成29年6月31日である。

## 6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$  となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは50.3となった。平成29年3月の調査（以下、「前回調査」という。）より2.6ポイント上昇し、横ばいを表す50を13期ぶりに上回った。

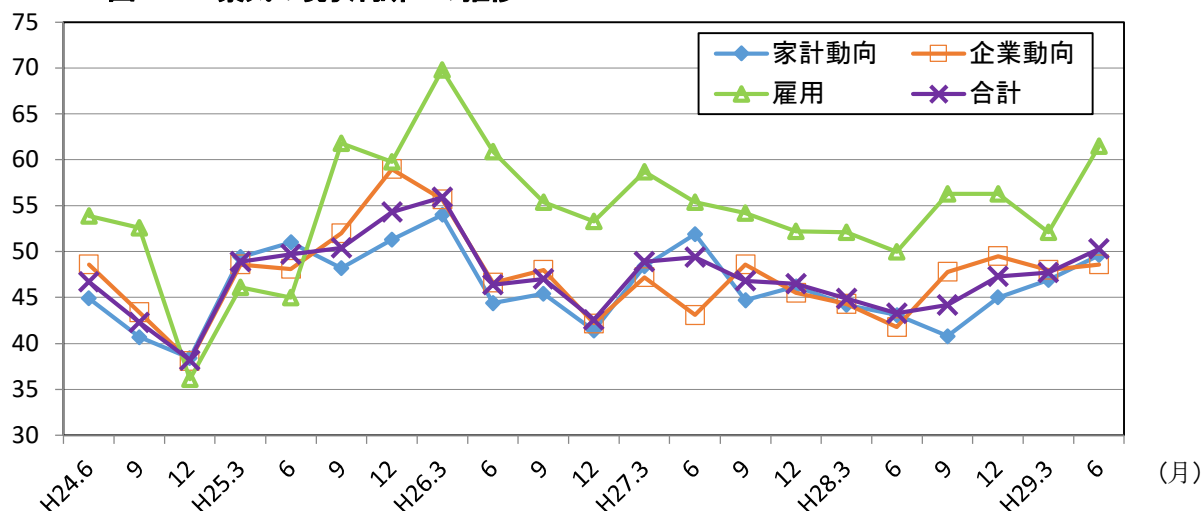
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月	平成29年 6月
<b>合計</b>	<b>43.3</b>	<b>44.2</b>	<b>47.3</b>	<b>47.7</b>	<b>50.3</b>
<b>家計動向関連</b>	<b>43.1</b>	<b>40.8</b>	<b>45.0</b>	<b>46.9</b>	<b>49.6</b>
小売関連	39.8	39.6	43.1	47.1	50.0
飲食関連	44.8	37.5	46.9	48.9	51.0
サービス関連	44.2	42.0	45.9	45.4	47.4
住宅関連	52.8	47.2	47.2	52.8	61.1
<b>企業動向関連</b>	<b>41.8</b>	<b>47.8</b>	<b>49.5</b>	<b>48.0</b>	<b>48.6</b>
農林水産業	50.0	43.8	50.0	37.5	50.0
製造業	37.2	46.4	50.5	46.3	47.9
非製造業	46.4	50.7	47.9	52.9	49.3
<b>雇用関連</b>	<b>50.0</b>	<b>56.3</b>	<b>56.3</b>	<b>52.1</b>	<b>61.5</b>

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年 6月	0.7%	14.7%	50.0%	26.2%	8.4%
平成28年 9月	1.7%	13.7%	51.5%	25.8%	7.2%
平成28年 12月	2.4%	17.6%	53.1%	20.7%	6.2%
平成29年 3月	2.1%	17.0%	53.8%	23.6%	3.5%
平成29年 6月	2.4%	23.5%	50.3%	20.4%	3.4%

(DI) 図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.7となった。前回調査より1.4ポイント上昇し51.7となり、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

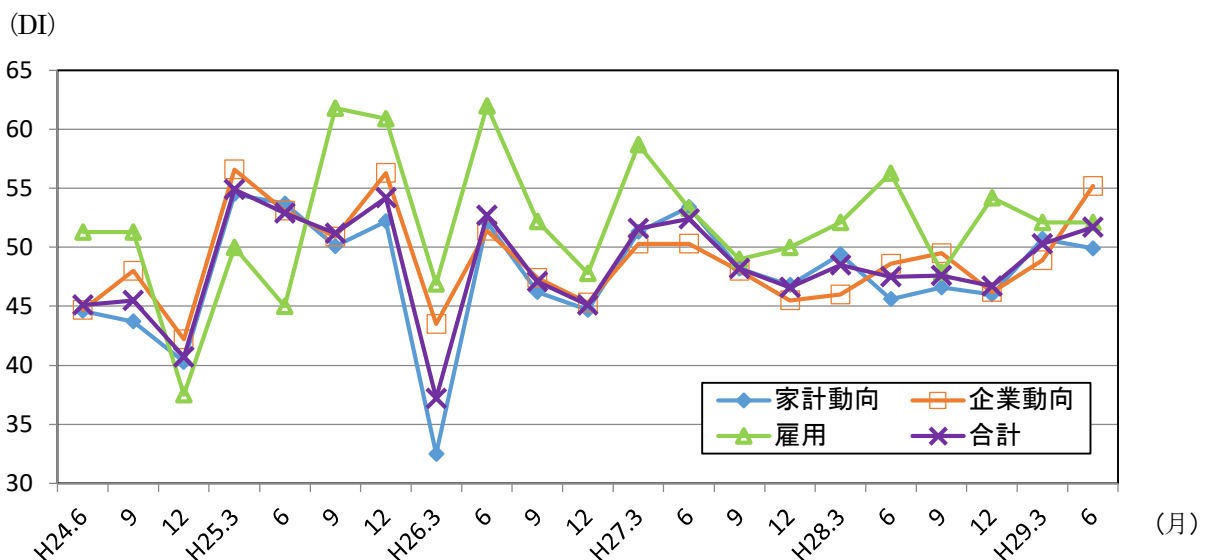
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
<b>合計</b>		<b>47.5</b>	<b>47.6</b>	<b>46.7</b>	<b>50.3</b>	<b>51.7</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>45.6</b>	<b>46.6</b>	<b>46.0</b>	<b>50.7</b>	<b>49.9</b>
小売関連		43.4	45.4	48.2	47.1	48.5
飲食関連		51.0	56.3	42.7	59.1	56.3
サービス関連		45.8	44.9	44.2	51.6	48.7
住宅関連		44.4	44.4	52.8	50.0	52.8
<b>企業動向関連</b>		<b>48.6</b>	<b>49.5</b>	<b>46.2</b>	<b>48.9</b>	<b>55.2</b>
農林水産業		56.3	43.8	31.3	50.0	68.8
製造業		49.5	49.0	45.8	49.5	53.1
非製造業		45.7	51.4	50.0	47.8	55.0
<b>雇用関連</b>		<b>56.3</b>	<b>47.9</b>	<b>54.2</b>	<b>52.1</b>	<b>52.1</b>

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	1.8%	17.9%	54.7%	19.6%	6.0%
平成28年 9月	1.4%	19.2%	54.6%	17.9%	6.9%
平成28年12月	0.7%	17.2%	56.9%	18.6%	6.6%
平成29年 3月	1.7%	20.8%	57.6%	16.3%	3.5%
平成29年 6月	1.7%	23.1%	58.8%	12.9%	3.4%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは51.7となった。前回調査より5.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を13期ぶりに上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		42.7	42.5	50.0	46.4	51.7
	家計動向関連	39.3	34.6	45.6	44.5	51.4
	企業動向関連	47.4	53.9	56.6	50.0	53.9
	雇用関連	50.0	56.3	56.3	43.8	43.8

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	0.0%	20.7%	41.4%	25.9%	12.1%
平成28年 9月	1.8%	17.5%	38.6%	33.3%	8.8%
平成28年12月	0.0%	28.1%	47.4%	21.1%	3.5%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	58.2%	20.0%	5.5%
平成29年 6月	1.7%	25.4%	50.8%	22.0%	0.0%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは51.7となった。前回調査より3.4ポイント上昇し、横ばいを表す50を7期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		40.9	50.0	47.8	48.3	51.7
	家計動向関連	42.6	45.5	44.6	46.7	50.7
	企業動向関連	34.4	57.8	48.4	50.0	50.0
	雇用関連	50.0	60.0	70.0	55.0	65.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	1.7%	8.6%	50.0%	31.0%	8.6%
平成28年 9月	6.7%	15.0%	55.0%	18.3%	5.0%
平成28年12月	3.4%	15.5%	56.9%	17.2%	6.9%
平成29年 3月	1.7%	23.7%	42.4%	30.5%	1.7%
平成29年 6月	1.7%	27.1%	47.5%	23.7%	0.0%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは51.3となった。前回調査より1.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を8期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月	平成29年 6月
合計		46.1	42.1	45.2	50.0	51.3
	家計動向関連	47.7	41.9	44.1	51.5	52.2
	企業動向関連	42.1	40.3	44.4	48.5	47.2
	雇用関連	50.0	50.0	55.0	45.0	60.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	1.8%	7.0%	66.7%	22.8%	1.8%
平成28年 9月	0.0%	12.3%	54.4%	22.8%	10.5%
平成28年12月	1.8%	8.8%	63.2%	21.1%	5.3%
平成29年 3月	1.8%	16.1%	62.5%	19.6%	0.0%
平成29年 6月	1.8%	24.6%	52.6%	19.3%	1.8%

### ④ 県南地域

景気の現状判断DIは50.8となった。前回調査より2.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を6期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月	平成29年 6月
合計		48.3	43.8	49.2	48.3	50.8
	家計動向関連	48.5	39.6	50.7	48.6	50.7
	企業動向関連	47.4	47.4	44.7	47.4	48.7
	雇用関連	50.0	60.0	55.0	50.0	60.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	0.0%	24.1%	50.0%	20.7%	5.2%
平成28年 9月	0.0%	8.3%	63.3%	23.3%	5.0%
平成28年12月	3.3%	16.7%	58.3%	16.7%	5.0%
平成29年 3月	1.7%	13.3%	61.7%	23.3%	0.0%
平成29年 6月	3.3%	18.3%	58.3%	18.3%	1.7%



### ⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは45.8となった。前回調査より0.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

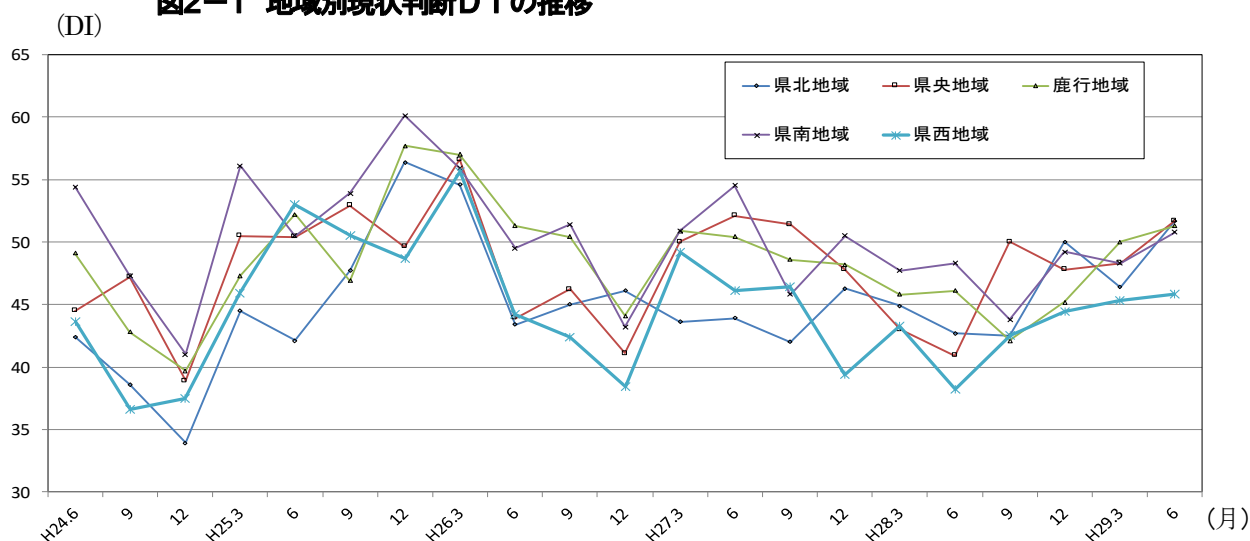
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		38.2	42.5	44.4	45.3	45.8
家計動向関連		37.1	41.7	39.7	42.9	42.9
企業動向関連		36.8	40.8	52.6	44.4	43.4
雇用関連		50.0	55.0	45.0	65.0	75.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	0.0%	12.7%	41.8%	30.9%	14.5%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	45.6%	31.6%	7.0%
平成28年12月	3.4%	19.0%	39.7%	27.6%	10.3%
平成29年 3月	5.2%	15.5%	44.8%	24.1%	10.3%
平成29年 6月	3.4%	22.0%	42.4%	18.6%	13.6%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	24.06	24.09	24.12	25.03	25.06	25.09	25.12	26.03	26.06	26.09	26.12	27.03	27.06	27.09	27.12	28.03	28.06	28.09	28.12	29.3	29.6
県全体	46.7	42.3	38.2	48.9	49.7	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3
県北	42.4	38.6	33.9	44.5	42.1	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7
県央	44.5	47.2	38.9	50.5	50.4	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7
鹿行	49.1	42.8	39.7	47.3	52.2	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3
県南	54.4	47.3	41.0	56.1	50.5	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8
県西	43.6	36.6	37.5	45.9	53.0	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8
全国	43.8	41.2	45.8	57.3	53.0	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2 51.4	50.6 47.4	49.9(原数値). 50.0(季節調整値)

## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは52.1となった。前回調査より3.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を9期ぶりに上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		46.1	48.7	43.4	48.2	52.1
	家計動向関連	41.4	47.8	44.1	47.7	51.4
	企業動向関連	51.3	52.6	43.4	47.4	55.3
	雇用関連	62.5	37.5	37.5	56.3	43.8

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	0.0%	22.4%	51.7%	13.8%	12.1%
平成28年 9月	3.5%	21.1%	50.9%	15.8%	8.8%
平成28年12月	0.0%	12.3%	57.9%	21.1%	8.8%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	63.6%	16.4%	3.6%
平成29年 6月	0.0%	25.4%	59.3%	13.6%	1.7%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは55.1となった。前回調査より1.3ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.9	49.2	46.6	56.4	55.1
	家計動向関連	51.4	45.5	43.9	58.6	53.3
	企業動向関連	59.4	57.8	46.9	53.1	57.8
	雇用関連	55.0	50.0	65.0	50.0	60.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	6.9%	22.4%	53.4%	13.8%	3.4%
平成28年 9月	3.3%	20.0%	51.7%	20.0%	5.0%
平成28年12月	0.0%	17.2%	60.3%	13.8%	8.6%
平成29年 3月	1.7%	33.9%	52.5%	11.9%	0.0%
平成29年 6月	5.1%	25.4%	54.2%	15.3%	0.0%

### ③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.0となった。前回調査より2.2ポイント低下し、横ばいを表す50となった。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月	平成29年 6月
合計		46.4	49.6	46.9	52.2	50.0
	家計動向関連	47.7	50.0	44.9	52.2	47.8
	企業動向関連	40.8	48.6	50.0	54.4	55.6
	雇用関連	50.0	50.0	50.0	45.0	45.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	0.0%	12.5%	62.5%	23.2%	1.8%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	71.9%	7.0%	5.3%
平成28年12月	0.0%	12.3%	66.7%	17.5%	3.5%
平成29年 3月	3.6%	16.1%	66.1%	14.3%	0.0%
平成29年 6月	0.0%	17.5%	66.7%	14.0%	1.8%

### ④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.2となった。前回調査より4.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を8期ぶりに上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月	平成29年 6月
合計		48.7	47.5	48.8	50.0	54.2
	家計動向関連	45.6	46.5	51.4	52.1	51.4
	企業動向関連	51.3	50.0	42.1	46.1	57.9
	雇用関連	60.0	45.0	55.0	50.0	60.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	1.7%	19.0%	53.4%	24.1%	1.7%
平成28年 9月	0.0%	18.3%	56.7%	21.7%	3.3%
平成28年12月	1.7%	20.0%	56.7%	15.0%	6.7%
平成29年 3月	1.7%	20.0%	56.7%	20.0%	1.7%
平成29年 6月	1.7%	28.3%	58.3%	8.3%	3.3%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.0となった。前回調査より2.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

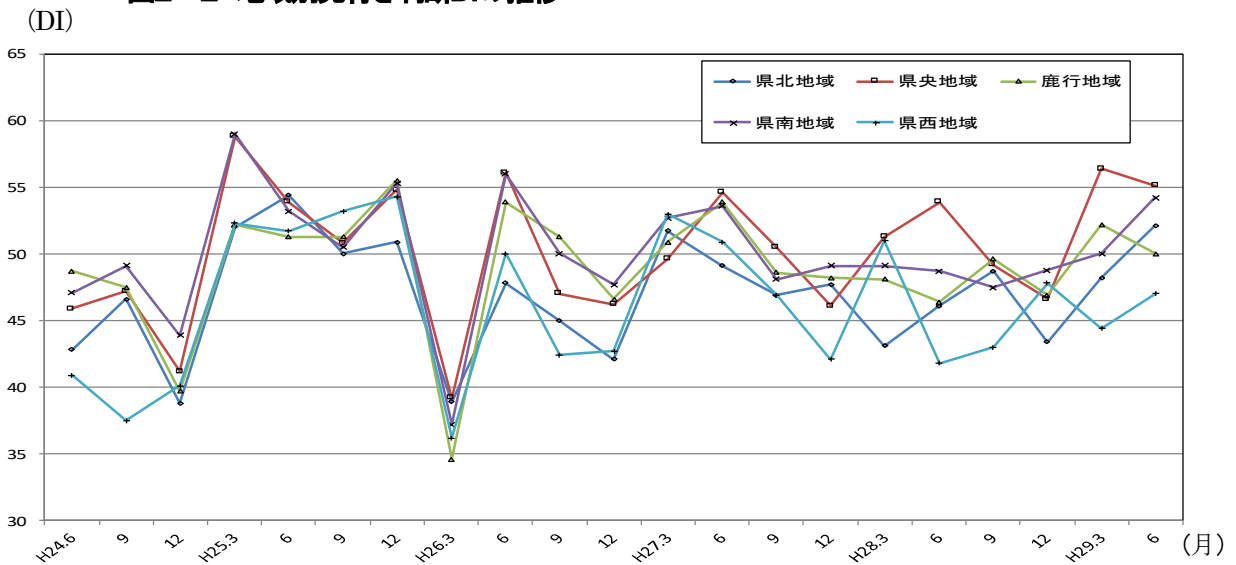
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		41.8	43.0	47.8	44.4	47.0
家計動向関連		39.5	43.2	45.6	42.1	45.0
企業動向関連		42.1	39.5	48.7	44.4	50.0
雇用関連		55.0	55.0	60.0	60.0	50.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 6月	0.0%	12.7%	52.7%	23.6%	10.9%
平成28年 9月	0.0%	21.1%	42.1%	24.6%	12.3%
平成28年12月	1.7%	24.1%	43.1%	25.9%	5.2%
平成29年 3月	1.7%	17.2%	50.0%	19.0%	12.1%
平成29年 6月	1.7%	18.6%	55.9%	13.6%	10.2%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	24.06	24.09	24.12	25.03	25.06	25.09	25.12	26.03	26.06	26.09	26.12	27.03	27.06	27.09	27.12	28.03	28.06	28.09	28.12	29.3	29.6
県全体	45.1	45.5	40.7	54.9	52.9	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7
県北	42.8	46.6	38.8	52.0	54.4	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1
県央	45.9	47.2	41.2	58.8	53.9	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1
鹿行	48.7	47.5	39.7	52.2	51.3	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0
県南	47.1	49.1	43.9	59.0	53.2	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2
県西	40.9	37.5	40.1	52.3	51.7	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0
全国	45.7	43.5	51.0	57.5	53.6	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0 50.9	49.0 48.1	51.5(原数値) 50.5(季節調整値)

《調査期間前後の主な出来事》

- 1/ 6 日野自動車古河工場, 全面稼働
- 2/26 圏央道, 県内区間全面供用開始
- 4/ 1現在 県人口 24年9か月ぶりに290万人を下回る
- 4/ 3 NHK連続テレビ小説「ひよっこ」放送開始
- 4/27 にぎわい広場Waiwaiドームしもつまオープン
- 5/ 8 ひたち海浜公園 大型連休期間の入園者数過去最高
- 5/28 県自然博物館 入館者数1000万人達成
- 5/31 高安関 大関昇進
- 6/ 1 生活関連・食品の一部値上げ ビール, はがき, 電気・ガスなど
- 6/ 6 大洗研究開発センターで被ばく事故が発生

III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	運輸業	貨物の運送依頼が増えてきたが, ドライバー不足のため対応できない。弊社の事情を考えなければ, 景気は良いと思われる。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	今年は年度頭にもかかわらず, 工事現場への見積り依頼物件が多い。
		スーパー	惣菜などの割高な商品でも毎日売れ行きが良い。
		スーパー	惣菜弁当などは, 少量多品種傾向が見られる。価格は単価100円UPしている。生鮮物でも同様に良い品質の物が売れる。客単価も90円UPし, 客数増とあわせて景気上昇傾向です。
		小売業 (弁当・惣菜店)	景気が良くなったという話はあまりないものの, 以前のような苦しさの話は少なくなった。
		小売業 (燃料)	売上げが少し増えた。
		小売業 (時計)	購入価格が若干上がっている。
		居酒屋	ボーナスシーズンなので景気は良くなっている。(理由)お子様連れのお客様一人あたりの単価が上がっているため, やや良くなっていると判断しました。
		中国料理店	気候が良くなり, 時期的に活動的になってきたこと。
		食堂	連休で人の出が多かったから客単価が伸びた分良かったと思う。
	観光型ホテル	前年同期と比較して日帰り予約に変化はみられないが, 宿泊予約が多少伸びており景気はやや良くなっていると判断する。	
	企業	林業関係者	福島県での住宅着工数の増加の情報を聞く。
		製造業 (食料品)	高価格帯の製品群の問い合わせ増加。他の市場でも, 従来にはない高価格帯新商品があらたなユーザーを獲得している。
		製造業 (化学工業)	当社への受注が増加しているの, その背景を聞くと「物が売れている」という答えが返ってくることが多い。
		製造業 (電気機械器具)	主力製品の多少ながら生産量アップや, 他生産量アップ機種が数点ある。
運輸附带サービス業		取引先営業等は, 引き合いも若干動きがでてきたとのことなので上向きだと思える。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	お客様の購入金額, 購入頻度に変化があまり感じられないため, 変わらないと判断しました。
		衣料品販売店	低調で推移している。
		自動車販売店	エコカー減税の基準が厳しくなり税金の負担増になってはいるが販売に影響するようなこともなく, 自賠責保険が値下げになったからと言って販売に影響することもない。消費者は以前ほど情報に振り回されていないようだ。
		農産物直売所	前年の同月と比べると, 変わらない。お土産類は減少しているが, 食事は増えている, プラスマイナスゼロ。
		小売業 (水産物)	売上げが平行のままなため, 変わらないと判断しました。
		観光型ホテル	今年に入り, お客様の動きがないように感じるため, 変わらないと判断しました。
		旅行代理店	受注額, 件数, 旅行規模を見ても大きく変わった様子は見られない。
		タクシー運転手	市内の大手企業のお客様からも, あまり景気回復の兆しが感じられない。
		ドライブイン	平日でもご年配のお客様はよくご来店されるが, 相変わらず消費にはシビア, 季節毎のイベント (GW, お盆, 正月, 彼岸) に備えるような販売姿勢にみうけられる。
		レジャー施設	特に, 目立った変動が見受けられないため変わらないと判断した。
		ゴルフ場	高齢者の利用は増えている気がするが若い方の利用者 (30~50歳の方) が減少している。
		ゴルフ場	前年同時期とほぼ変わらない推移をしている。
		ボウリング場	ご利用いただくお客様一組当たりの利用ゲーム数が若干減少傾向が見られる。夜間からの深夜帯にかけての利用数に伸びがみられない。週末についても, 日中利用されるお客様の数は少なく感じる。
		写真店	昨年の売上げとほぼ変わらないため, 変わらないと判断しました。
		美容室	来店サイクルが伸びている方がいる一方売買意欲の高まっている方との差がでてきている。売上げを見ると変わらない。
		住宅販売会社	各企業が決算期を迎えたが, 状況は変わっていない。

変 わ ら な い	企業	製造業（電気機械器具）	作業量に変動がない。	
		製造業（電気機械器具）	前年までと比べて、特に変わった傾向はみられません。	
		製造業（電気機械器具）	部門により作業量の差が激しい。エネルギー関係は少ないが、半導体や自動車関連は多忙である。ただ、全社的に見れば3か月前と比較して大差はない。	
		製造業（一般機械器具）	ご来所される顧客数に大きな変動がない。	
		製造業（輸送用機械器具）	自動車各社は①将来の自動運転に向けた開発②欧州を中心とした電気駆動車の開発に注力するとともに差別化を目指しているが、国内の自動車販売に大きな変化は表れていない。	
		金融業	日立製作所の組織改革により、三菱重工業が火力発電システム事業を統合して発足した三菱日立パワーシステムズは三菱重工業が主導である。基幹工場従業員等の新会社の傘下のもと転籍等もあり県北地域の人口流失の要因となっている。市内業者は日立製作所からの受注依存度が高く、また受注に増加がみられない状況で先行き不透明感がある。不動産業者の地元活動鈍く、日立製作所関連企業の統合・売却の可能性があることから先行き不安感が見受けられる。	
		不動産業	顧客数及び契約数が増えている。	
		情報通信業（情報サービス業）	商談は増えているように思うが、進捗が遅く、なかなか受注に結び付かず、価格も厳しい状況が続いている。	
		雇用	求人広告	大手を除いて規模の小さい業態だけで見ると悪くなっているように感じる。
			公共職業安定所	求人数は、前年比同数程度だが、求職者数が前年比減少傾向である。そのため、有効求人倍率が上昇している一因となっている。
学校就業関係者	季節的な要因で求人との問い合わせが来ているが、判断材料はない。			
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	売上げの前年比を3か月前と比べると、今月の方がやや落ちているため、やや悪くなっていると判断しました。	
		コンビニエンスストア	来店客数の減少、客単価が改善していない現状から考えると、景気はやや低下傾向にあるように考えます。	
		小売業（酒類）	大型連休後は例年良くないが今年は特に良くない。得意先飲食店さんも来店数が伸び悩みとの話が多かった。	
		スナック	4月、5月、6月になっても店があまりにもひまだからやや悪くなっていると判断しました。	
		観光型ホテル	春から夏の過渡期でお金はあまり使わないと思う。	
		タクシー運転手	本当に遠距離利用が少なかったです。ぼつんぼつんと8,000円～10,000円台位の売上げが間に入ってくればいいんですが。ツキがなかったのか、本当に不景気なのか乗車回数が同じでも内容が悪かったのです。タクシーの場合はツキも非常に大事ですから。今後に期待したい。	
		タクシー運転手	売上げ等が減少している。	
		ゴルフ場	①予約、来場実績対前年比でマイナス5ポイント流れが悪くなっている。②4～6月の流れは前年の予約の入り方がスタート時点でやや落ちている。	
		企業	水産業関係者	雇用行政が悪く感じ、消費動向も下がっている風である。
			製造業（食料品）	今年の3月までは売上げも順ちようであったが4月ごろから売上げも下がって来ている。昨年から見ても4月も5月の売上げは8%減少し以前より安い物が売れている気がしている。
製造業（精密機器）	社内は忙しいですが、客先の案件が少なく見通しがいい状況です。全体的に少ないです。			
建設業	当社の見積り件数等は横這いで変化はないが、協力会社等の話からは、仕事量が減っていると聞くので景気はやや悪くなっていると思う。			
雇用	求人開拓員	・家計負担増(ガソリン代、電気代、ガス代等の値上げ)・実際的には負担増だが、電気、ガス代等は冬場の使用料(量)からは少なくなっているため、金額的な面で実感として感じ方が少ない気がしていると思う。(昼が長く電気代は減り、温度が高い日はシャワーで済む場合は、ガス代も1/2近くに減る。)		
悪	-	-	-	



## (2) 県央地域 【現状】

回答	分野		
良	雇用	公共職業安定所 管内有効求人倍率(前年度比)の推移を3か月前から見ると、2月が+0.08ポイント→3月が+0.09ポイント→4月が+0.17ポイント→5月が+0.20ポイント上昇にある。	
やや良くなっている	家計	スーパー	2月から4月の間で4店舗の出店が決まったことと現在進行中に出店計画も3店舗あるため良い方向に動き出した感じがします。
		コンビニエンスストア	例年、GW・母の日以降は客数・客単価ともに下がるのだが、今年は客数・客単価ともに、3か月前に比べ前年を上回っている。
		旅行代理店	旅行者数や県内お出掛け調査(人数)も緩やかながら増加のため景気は良くなっている、と思われます。
		タクシー会社	中・長距離のお客様が、若干増えているように感じるのやや良くなっていると判断しました。
		ゴルフ場	非会員の予約数に増加が見られ、久しぶりに前年対比で219名増加しました。
		スーパー銭湯	今年のGWは繋がりが後半に良くなっていたこと、海浜公園のネモフィラの満開の時期が重なったことおよびTVによるネモフィラの報道がGWの期間中、どのTV局でも放送されていたことにより近県からの観光客で周辺地区は賑わったと思われます。当館も予想以上の来館者で賑わうことができました。GW後は例年落込みが大きいのが通常であります、その良いムードは少し残っているように思われ期待するものです。
		ペット美容室	暖かく、または暑くなってきたからです。寒い時は毛を短くすることを躊躇しているオーナーさんが多いです。
		建築設計事務所	例年と比べると動きが遅い傾向であったがここにきて引き合いが増えてきている。
		住宅販売会社	良い土地が見つかれば建築するお客様が増えてきた。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	当社として固定客からの発注が定期的にある。新規ユーザーの獲得により少し売上げが伸びている。ユーザーの業種業態によって厳しいところもある。
		製造業(窯業・土石製品)	4月～6月にかけて一時的に仕事が入ってきた。
		製造業(金属製品)	1～3期の低迷がうそのように4月以降物件の動きが活発化している。先々の案件まで受注できるようになってきた。
		運輸業(道路貨物運送業)	貨物の動きが良くなっており、運送、保管・荷役等をセットにした見積り依頼が増えている。
		情報通信業(情報サービス業)	工場のお客様に関しては、設備投資に対する相談の金額が上昇しているように思います。
	雇用	求人開拓員 当センターにおける4月以降求職者数(新規、再来、電話を含む)は目立って減っている。有効求人数、有効求人倍率共に4月まで増加傾向にあった。しかし、正社員雇用に対して依然非正規雇用求人の方が増えている傾向にある。雇用情勢において、景気はやや良くなっているように感じられる。	
変わらない	家計	商店街代表者	目立った変化はみられません。
		百貨店	慎重に品を選び、迷った時は購入しない様子は以前とあまり変化がないため、変わらないと判断しました。
		スーパー	3か月前と比べて何も大きな変化が感じられないため、変わらないと判断しました。
		スーパー	6月から、各種商品の値上げの動きもあり、財布の紐は相変わらず固いようだ。
		スーパー	来店されるお客様の購入金額、購入点数とも3か月前と同様で、伸び悩んでいる。高価格帯の商品の動きが伸長していない。
		コンビニエンスストア	前回同様、お客様の買われ方として無駄なものを買わなくなっております。店側としてもお客様にどのようにもう一品お買上げいただくかを模索しております。
		自動車販売店	販売台数、在庫台数とも前年同月よりもよりこ直近でもさほど変化はありません。
		農産物直売所	売れ筋商品の価格帯が変わらない。バーベキュー等の単価は今までと同じ単価。
		楽器販売	売上げの傾向に特に変化が感じられない。昨年比でもほぼ同様の鈍化具合なので変わらないと判断した。
		レストラン	歓送迎会、総会等の利用は入っているが、客単価等の大きな動きはない。家族連れのリクエストもほぼ横這い。
		レストラン	宴会打ち合わせなどで予算的に変動は見られない。
		都市型ホテル	全く変化なし。
		観光型ホテル	特に目立った変化は見られない。
		旅行会社	バスの稼働は少ないです。小学校の遠足が秋シーズンになり春はバスが車庫に残っていました。
		タクシー会社	昨年末から上昇傾向にあったが、4月より対前年比2%～5%の伸びで上下しており変動がないものと判断します。水戸駅等の乗降客も増減なしで、常連客も増減がない状況になっています。
観光名所	6月の売上げ高の落込みは毎年同様であるが、依然利益率の高い嗜好品が伸び悩んでいる。また、単価の高い商品より、安い商品にばかり購入が集中している。お客様の数、購入数は横這いのため薄利多売といかないのが現状です。		
レジャー施設	一時期より良くなっているが出足が遅くなっている。これは、遠方からの流れが少なくなっているものと感じている。地元茨城が、高速道路開通で他県に流れている気配も感じるころであるが、昼前になると以前は感じたことがない一定の来館の流れがでてきている。結果、変わらないという評価です。		
理・美容店	当店のお客様は2か月～3か月のサイクルで来店する方が多いので…3か月前とあまり変わらないような気がする。		

変わらない	企業	農業関係者	露地野菜等を出荷している農家は収入が増えているが、梅が不作であり収入が極端に減っている。
		製造業(食料品)	一部、圏央道効果が見られるが、全体的には横這い感。
		製造業(食料品)	販売額の伸びがない。
		建設業	全く変化がないと判断される。
		金融業	今年の大企業のボーナス支給が5年ぶりに減少との報道もなされ、生活防衛のための貯蓄意識が依然高いと思われ、全体として消費意欲が上向いているようには感じられません。中小企業・個人事業主においても、同様に設備投資等の計画はあるものの、実現に向けての動きは弱いと感じられます。
雇用	人材派遣業	特に売上げの変化もない。	
	求人広告	特に物が売れている様子もない。	
	学校就業関係者	企業の人事担当者との情報交換のなかで、3か月前と変わったという情報は聞けていないため、変わらないと判断しました。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	民間企業から受注もなく官庁関係やその外郭団体からの注文も見積り依頼が多く、他店との価格競争により大変厳しい状態である。来店するお客様も減少。
		百貨店	3か月の前年比と月の途中ではあるが、現在の当月の前年比を比較すると、当月は落ち込んでいるため、やや悪くなっていると判断しました。
		スーパー	まだまだデフレ基調なので給料も上がっていないため財布の紐が固い！！
		小売業	土日祝日はお客様数が平日より増えるものの客単価はほぼ変わらず、余計な物は買わず旅行先で自分達用にお金は使うという方々が多いのではと感じます。
		都市型ホテル	客単価が伸びていないし、会合等の人数、件数も対前年を下回っている。
		タクシー運転手	このところ特に行事らしいこともなく3か月前の前年比と今月の前年比を比べると今月のほうが低調なので景気はやや悪くなっている。
		ドライブイン	インバウンドのお客様もひたちなかのネモフィラも終わり、今花を見るところが少なく、観光バスも少ない。
		ゲームセンター	4月は、土日の天候が非常に良く、花見の影響を強く受け売上げが減少しました。GWの売上げこそ前年とほぼ同じでしたが、その後、数%クラスの少ない落ち込みが連続し、6月現在も回復の兆しが見えません。
		レジャー施設	昨年同時期と比較して申し込み(契約)状況が少ないため、やや悪くなっていると判断しました。
		企業	製造業(印刷・同関連業)
製造業(一般機械器具)	当社は、どちらかと言えば、設備関連の仕事のため、なかなか増産新製品が出て来ないため仕事が増えていません。		
製造業(精密機械器具)	毎年四半期前半は、どうしてもこのような形態となります。		
不動産業	3か月前の前年比と今月の前年比を比べると今月の方が低調なのでやや悪くなっている。		
サービス業(広告業)	GWが終わって、夏までの期間は販促広告が減る時期。		
悪	-	-	



(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野		
良	家計	小売業	来店客数が増えている。
		農産物直売所	店の売上げが上がっているから、やや良くなっていると判断しました。
	家計	小売業（食品）	農産物直売所、道の駅などは変わらず売れている。大型スーパーなどの量販店などもやや良くなっている。
		洋食食堂	前年比110%を続けている。3月は当店開店以来最高の売上げだった。
		海鮮料理店	現状は「やや悪くなっている」です。今、当店の営業しているところが、6月だけは、他県の方々が多く来られるので「やや良くなっている」にしました。とにかく悪すぎます。
		タクシー運転手	最近お客から景気悪いという話は聞かない。タクシーだけはひまだけど、飲食店などにも人が入っているし町には活気がある。
		ドライブイン	団体旅行・個人旅行者ともに増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断しました。
		理・美容店	広告効果もあり、新規来店が増えました。高い客単価メニューが割引きになったので来店が増えたと思います。
		クリーニング店	今年は空梅雨なので、天候に恵まれているので外出する機会が増えたので、クリーニングの数が出た。
		企業	農業関係者
	製造業（食料品）		当社業績が上向いてきている。
	製造業（金属製品）		働き方改革によって、少しずつ給与受給額が上昇していると思う。消費力も上昇していると思う。
	雇用	民間職業紹介業	以前からするとだいぶ求人企業が増えてきている。
		求人開拓員	3か月前の年度当初と比較して、今回は建設業関係者よりお話を多く聞くことができました。毎年、年度当初は予算付けのため仕事量は少ないが、徐々に増えつつあるとのこと。このまま推移すれば中小企業もある程度潤えるのではないかと回答あり。
変わらない	家計	商店街代表者	観光スポット付近の商店は好況も、エリアとしての回遊性に乏しく、総じて変化を感じない。
		スーパー	来店客数、客単価、売上げ等横這いで推移。
		コンビニエンスストア	昨年の大型定期修理が裏となり、朝、夜の来客数が減少している状況。一方で日中の主婦や高齢者の利用は増えており、客単価も高い。来店されているお客様に対して品揃えがマッチしていけば売上げ伸長は見込める。
		農産物直売所	景気が良くないという意味で変わらない。お客様の購入時の様子に変化なく、特に上がりそうな気配もしない。
		小売業（菓子類）	6月の対前年比の売上げがほぼ同じである3か月前のそれとほとんど変わらない。
		小売業（書店）	お客様からの注文件数が減少している。ネット、スマホの影響は大きい。
		和食レストラン	お客様の来店数は変化しないものの、客単価は微減の傾向が続いています。この傾向に変化はなく、景気が良化しているとの実感は3か月前と変化ありません。
		割烹料理店	この時期は、例年忙しくないが、予約の状況からすると例年通りの感じがする。
		観光型ホテル	予約状況から見て変わらないと思うからです。
		タクシー運転手	「変わらない」よりやや悪くなっていると思う。一年前より、半年前と徐々に下降線である。（売上げ額）
		ゴルフ場	予約等の動きは遅く直近傾向だが最終的に来場者は昨年並み。
		レジャー施設	お客様の来店人数、また客層等に大きな変化がないため、変わらないと判断しました。
		理・美容店	売上げ的に変わらない。横這いです。
		住宅販売会社	イベントを実施しても、思ったほど集客が伸びない。
	住宅販売会社	変化がない。	
	企業	製造業（食料品）	中小企業のお客様が多いので企業内容が良くならないと上がらない。
		製造業（食料品）	当面は需給バランスの崩れからくる末端販売価格競争激化状態が継続する。
		製造業（電気機械器具）	特に変動は感じない。
		建設業	新年度体制になり発注量に期待していますが、状況的には、増加の様子は見受けられません。
		建設業	ハウスメーカーなどは新築が多いようです。一般の中小工務店などは仕事が少ないです。
金融業		3月と比べても、資金需要が増加した感もなく、お客さまから景気がよくなったとの話もない。	
保険業		前年と同じ契約が多くなっている。	
不動産業		景気に変化はない。テナントの入居希望者が少ないような気がする。	
サービス業		例年、GW前は依頼が少なく、明けから徐々に増加する傾向にあるが、本年についても同様の傾向であり、大きな変化は感じられなかった。	
火力発電所		出荷量に変化なし。	
雇用	人材派遣業	1.各企業からのオーダー数があまり変わっていない。（良い状態が継続されていると判断） 2.大企業、中小企業ともまんべんなくオーダーあり。	
	公共職業安定所	求人数は対前年比で増加傾向にあり、求職者数は減少傾向が続いている。	
	学校就職関係者	特に変化がないため、変わらないと判断しました。（ただし、求人については昨年度同時期に比べやや良い）	

やや悪くなっている	家計	スーパー	(1)野菜類の相場安自体は消費者にとって良いのですが、金額(売上げ)が多少作りにくいです。(2)アニサキスの件で生魚関係が売行きに影響が出ています。(3)「酒税法」改正がらみで酒に関して5月末、駆け込み売上げ、6月に入ってその反動が少しあります。
		家電販売店	客単価の減少が目立つ。高付加価値の商品より安価な商品を選択されている割合が大きくなった。
		小売業(酒類)	近隣の同業他社(ドラッグストア)等による影響で来客数が減少傾向にある。
		日本料理店	6月の送迎会、新入社員の歓迎会が少なくなってきた。社員が少なくなっている?
		観光型ホテル	合宿、研修の利用団体数は変わらないが、参加者が減少している。
		タクシー運転手	売上げが少し下がりました。
		レジャー施設	商品の問合せ、商談が少し減っている。
	企業	製造業(食料品)	この時期はメニューの切替えで注文も減るが前年比で比べると売上げも若干下がっている。
		運輸業(道路貨物運送業)	貨物の動きが落ちている。当然トラックの動きも良くない。
		内装工事業	家を建てる人もいますが、まだ強い勢いが見受けられない。また少子化と人口減少で件数も減っているのではないのでしょうか?
悪	企業	製造業(食料品)	イベントの売上げが落ちたため大きな影響を受けている。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野		
良	家計	コンビニエンスストア	1. 季節が景気を良くしている。(コンビニのピークは7月, 8月です。次に12月)ただし, 季節指数を除くまたは前年同月比では悪くなっている。
		住宅設計販売	地価の様子や仕事の状況から判断して, 良くなっている。
やや良くなっている	家計	スーパー	客数は99%と減少傾向ですが, ポイントカードの導入の効果で買上げ点数が伸びている。
		家電販売店	3か月前は新生活のお客が増えるため繁忙期でしたが前年売上げよりかなり悪い実績でした。6月は雨の日の来客数も減ります。家電も新製品が多く, お客様も検討される方が多いようですが, 前年売上げまではいかないが近い位の実績にはなっているのでやや良くなっているを選びました。
		小売業(食品・酒類)	お客様の買い物動向を見る指標としての客単価が, 今年1月より前年を上回っています。また飲食(レストラン等)売上げも堅調な推移を見ると, 生活物資以外の余暇消費にお金が増えていることから, やや良くなっているを選択。
		小売業(生花店)	業務用の客単価が若干上昇してきたが, 一過性の物かどうかは不明。
		都市型ホテル	宿泊は, インターネット予約が増え格安料金に飛びつく方と夕食や朝食を優雅にと高額商品をえらぶ方に二分化されている状況が見えてきました。このことは, 首都圏インバウンドを取り扱うエージェントも同様で特に中国インバウンドは, 高額商品と安価な商品に二分化されていると伺っております。婚礼商品については, 人口動態での減少や新規来館数が少ないという状況から披露宴を挙げないことが多くなっているため, 減少が見られますが, 挙式される方は, こだわりもあり高額で単価アップされる方も多し。以上の事由で, やや良くなっているかと思われました。
		工場見学案内	見学来場者によるギフトショップでの売上げが2017年1-3月では前年比100.1%であったのが, 同4-5月は135.8%と急増しており, 6月も16日現在の前年同日比で135.1%と4-5月と同様のペースで推移している。また, (旅行代理店が催行しツアー料金が発生する) 団体客も2017年1-3月が前年比93.3%であったのに対し, 同4-5月は117.9%と2ケタ増, 6月も16日現在の前年同日比で114.5%と好調に推移している。
	企業	製造業(家具・装備品)	商売の売上げの上がるシーズン, 3月~9月ですので少し上向くかと思っております。
		建設業	工事の問合せや見積りの依頼が多くなっている。
	雇用	人材派遣業	重機, 半導体, 自動車関連の需要が伸びている。
		学校就職関係者	求職者数の減少が見られる。
求人開拓員		4月から現職に就きましたので正直のところまだよく分かりませんが求人希望する企業が徐々に増えてきています。	
変わらない	家計	スーパー	売上げ, 客数とも, それほど変わっていないので変わらないと判断した。
		百貨店, 総合スーパー	現状の客数, 客単価, 売上げ等からも3か月前と変化がない状況が続いています。客数を上げる取り組みを店全体で実施しているが, 客数回復には効果が少ない。
		コンビニエンスストア	お客様が買う量, 質とも変化がないように思うため, 変わらないと判断しました。
		和食食堂	飲食店に関して, 夜の時間が悪い。
		和食食堂	ランチ帯の客数は伸びているがディナー帯では若干減少している。トータルで前年並みであった。
		日本料理店	当店は平均して, 土, 日, 祝日のご法事等の予約が入っているのですさほど変わらないように思われます。
		洋食食堂	仕事をする日々と予約状況, 昨年との比較をして特に変化なし。売上げも変化なしです。関係ないかもしれませんが市内の料飲業会員が年々減っています。閉店または廃業等200店→160店(27年~28年3月末)現在。
		寿司店	ほとんどの客が常連さんでサイクルがある程度決まっています変化がないです。
		都市型ホテル	当ホテルにおいては, 単価の良い歓送迎会時期と単価が変わらず例年のように単価が下がることもなく維持している。
		旅行代理店	年度末と今では比較はできにくいですが, 大きな落込みや向上点はあまりみられないと思う。お客様等のとの話のなかでもほぼ同様の様子。
		タクシー運転手	夜の飲食店からの仕事の依頼が少ない気がする。駅に着けていても人の流れがない。
		タクシー運転手	ホテルからの注文が伸びず, 当日電車に乗って仕事に来る人が多い印象。
		サービスエリア	平成29年2月26日に茨城県内の圏央道が全通し, 3月以降常磐自動車道の交通量に変化が生じ, 各エリアの売上げにも影響がでた。この高速道路特有の影響のため, 一般的な社会的景気の動向については判断しかねる状況であるが, 当商業施設のお客様動向を見る限り, 前年と比較すると入館者数の減少はあるものの, お客様の購買意欲は相変わらず高い率を示していることから, 特段の景気の変化はないと判断した。
		ゴルフ場	来場客の様子(コンペの予約状況に対する実施内容)などから変動は感じられない。
		ゴルフ場	関東地方が梅雨入りしたが思ったより雨天が少ない。本来なら客足は減少するはずだがこらえている感じがする。
		ボウリング場	圏央道の開通やプレミアムフライデーと明るい話題性はあるものの景気を動かすほどの力とはなり得ないし, なり得てない。
		レジャー施設	来場者数は回復傾向だが, 気候の要因が大きいか。特別判断できる材料がない。
理・美容店	特別身のまわりで変わったこともなくそれほど良くも悪くも感じられないです。		
理・美容店	売上げが上らない。		
住宅販売会社	集客に苦戦している。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	6月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年度3月期～と比較すると両者ともに増加傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	お客様の動向等を見ても、当社の売上げにしても良くなっているとは思いません。ガソリン等も高止まりのままです。
		製造業（金属製品）	受注品種が毎月同じのため、多少の増減はありますが変わりません。
		製造業（食料品）	客数や客単価が低迷で変わらない。
		製造業（飲料）	変化がありませんでした。
		製造業（印刷業）	毎月、製造する量も変わらないので変化はなし。
		製造業（窯業・土石製品）	新年度に入ったが予算の執行が進まない。
		製造業（窯業・土石製品）	全体的に当社の取引先の仕事量が減少しており、原材料も値上げ傾向にある。
		製造業（非鉄金属）	受注が横這いで推移している。
		製造業（一般機械器具）	特別変化がなかったため、変わらないと判断しました。
		建設業	お客様から先行きの明るい話がありません。
		建設業	業績に変動なし。
		金融業	各業種における業況は全体的に特段の変化は見受けられない。新規事業の進出も活発化しておらず、新しい企業の誘致もない状況である。土浦市内の商店街も活況を呈しておらず、駅前に土浦市役所移転したが大きな影響は感じられない。不動産の売買も多少の動きはあるものの、物件の動きは相変わらず鈍い。景気自体は3か月前とほとんど変化はないように思われる。
		不動産業	3月は繁忙期のため単純比較はできないが、前年同月比の各種売上げに大きな推移はみられない。
雇用	求人広告	景気の変動を感じる事象がなかった。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	競合店出店により、単価、客数の減少。
		スーパー	3か月前の前年比と今月の前年比を比べると今月ほうが部門により好調ではあるが、酒の法改正などにより低調な部門も多くやや悪くなっている。
		農産物直売所	当農産物直売所、全店6店舗が前年対比10%減、不景気が原因ではないとは思いますがお客も減っている。
		専門スーパー	カテゴリーにより多少の差はありますが、お客様一人あたりの買上げ点数が減少傾向にあります。
		小売業（米穀）	とにかくモノの動きが悪いです。じりじりと仕入れ価格が上昇しています。仕入れ価格の上昇にも、販売価格に上乗せできない状態がずっと続いています。
		タクシー運転手	・乗車回数が減少している。・事業所取引先の利用がやや減っている。・夜間の飲食店関係の迎車が少ない。
		タクシー運転手	夜など外出している人が少ない。
		企業	農業関係者
建設業	3か月前は年度末でもあり、工事量が多いのは当然だが、3か月前の前年比と今月の前年比は、今月のほうが明らかに減少している。営業努力不足のせいもあるのだろうが、景気はやや悪くなっていると思う。		
運輸業（倉庫業）	貨物の動きが全体的に良くない。前年と比べても低調である。		
雇用	公共職業安定所	求人数、求職者数ともに前年対比減少傾向であり、求人倍率もほぼ横這いで推移している。	
悪	家計	タクシー会社	一日通して電話がこない。混み合うのは、ほんの一瞬だけである。



## (5) 県西地域 【現状】

回答	分野		
良	企業	製造業（電気機械器具） 受注量増による増員要請が増加しており、事業所全体で不足感がある。	
	雇用	公共職業安定所 新規求人件数については、月ごとのばらつきはあるものの増加しており、28年度は対前年度比17.3%増となった。このことから、企業の雇用状況は順調であり、景気は改善していると思われる。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア 客数・売上げともに前年比100%越えになってきている。梅雨入りしましたが、気温も高く天候が安定しているので客数が伸びています。	
		農産物直売所 GW中に、出かける方が多かったと耳にします。（休日の）並びの関係もあったと思いますが…。いくらく良くなっているのかなと感じました。	
		和食食堂 開店が11:30ですが時間前に来て車で待っていると客は多くなっている。	
		都市型ホテル 今年度6月は祝賀会などの宴会が数件入っており、前年と比較すると良くなっている。しかし、単発的なものなので、来年につながるか微妙なところ。レストランは相変わらず、横這いのままです。	
		旅行会社 3月4月の年度末、年度始めから、一段落して、動き出してきた。	
		旅行代理店 今日は水戸線で仕事に行きましたが、PR用のチラシがほとんど貼っていません。JR下館駅発友部行き12:28発に乗った結果、驚きました。大手コンビニエンスストアのお客も減っているらしいです。朝と夕は自動車が止まるけど、料金は少ない。また昼間は、ほとんど来ないと言っていました。	
		タクシー運転手 売上げの向上。	
		ゴルフ場 入梅したが例年に比べ予約動向が良くキャンセルも少ない。購買状況も良く単価も上昇傾向にある。	
		企業	農業関係者 当地域の生産する農産物は再生産価格が保たれた販売単価で安定推移しているため収入の確保がされています。
		雇用	人材派遣業 来月、新しい会社との仕事が決まっている。
求人広告 ある一部の大手企業の求人は多くなっていると感じている。ただ、数が多い個人飲食店など求人件数は減っている。その求人の減っている理由が、売上げが落ちていることでの掲載見送りなど商売の不振が多く挙げられているため、やや良くなっていると判断しました。			
求人開拓員 求人が増えている。企業から「人が欲しいがなかなか集まらない」との声をよく聞くようになった。しかし、求職者は職に就いている人、決まった人が多く、求職者の数がかかり減っている。			
変わらない	家計	スーパー チラシ価格で客数増減を顕著に確認できません。あたりまえと言えばあたりまえですが、好景気の時には、買い物動向も価格を気になさらないお客様もおいでですが最近、皆様慎重です。	
		コンビニエンスストア 圏央道の開通による売上げ低下店舗の売上げ前年比の回復はなく同業種、同業態の新規出店による既存店の売上げ状況も良くないと思われま。	
		自動車販売店 3か月前と比較してほとんど変化なし。	
		専門スーパー 客数、客単価ともあまり変化がない。	
		製茶販売 お客様の来店が少ない。高い商品が売れなくなった。	
		日本料理店 宴会、来店客数、予算が変わらない。	
		タクシー運転手 特に変化がない。	
		ドライブイン お客様の来店者数と客単価を比べても3か月前と変わらないため、変わらないと判断した。	
		ドライブイン お客様の購買意欲に大きな改善は見られず、なかなか財布の紐は緩まない。相変わらず、割安感のあるもの、正規品ではなく久助がよく売れ、必要以上の物は買わない。	
		ゴルフ場 予約の状況にて変わらないと判断した。	
		レジャー施設 お客様の流れ等を確認していますが来館者数ほぼ横這いの状態に思えます。レストランなどを使う方が減っていますのでもしかしたら多少景気が悪くなっているかも。	
		理・美容店 「良くなった」「悪くなった」というのあまり耳にしなくなった。	
		建築設計事務所 設備投資に対して様子見状態が続いている。	
		住宅販売会社 顕著な動きが感じられない。	
企業	製造業（食料品） 総出荷数量としては、平均的な量であり、単価改定等によって減額改定されてしまうケースもあり総売上げについても大幅な増減がないため変わらないと判断した。		
	製造業（印刷・同関連業） 年度末も終わり、4月～6月と年間のうちでも、5月の連休も入るので、稼働日も少なく、仕事量も「シリツボミ」の状況だ。□□酒店が先月で店を閉めた。〇〇呉服店が秋には閉店する等、寂しい情報が入ってくるがせめて、気持ちは「変わらない」と念頭に仕事に精を出したい。		
	製造業（化学工業） 市場で特に大きな変動なし。		
	製造業（窯業・土石製品） 良くなるような兆候はない。これ以上悪くなれば、運営自体が厳しくなる。		
	製造業（窯業・土石製品） 当社は石材の加工メーカーですが、工場加工するのが本来の業務なのですが、今現状は、仕事を取ることが仕事業務になっております。今までは品質の良い製品づくりをするならば営業しなくても仕事供給力以上に、生産能力以上に需要がありましたが、現在はまったく様相が変わりました。		
	建設業 現状と変わるような出来事がないため変わらないと判断した。		
	サービス業（コンサルタント業） 周辺の賑わいは出てきたように感じますが景気となると変わっていないと思います。		
雇用	学校就職関係者 4月から新年度が始まっているが、本年度も企業からの求人推移は昨年度と変わらない。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	当店も含めて4店持っているが全て来客数が少ない,お店の賑わいが無い。
		スーパー	前年(昨年)同月と比較して品単価,買上げ点数ともに減少しています。
		飲食業	来客数で判断しました。
		和食レストラン	原材料の高騰,運賃の高騰などの影響もあり3か月前の前年比と今月の前年比を比べると今月のほうが低調なのでやや景気が悪いと思う。
		ゲームセンター	財布の紐が固い。イベント等で配布した割引券の利用頻度が低い。無料券でないとなかなか利用されず,単価の増加が見込めない。
	商店街代表者	需要の停滞により3か月前の前年比と今月の前年比を比べると,今月のほうが低調なので景気はやや悪くなっている。	
	企業	農業関係者	日銀が打ち出したゼロ金利政策により,運用利益が出ない状況。
		製造業(印刷・同関連業)	新年度に入って仕事が思うように受注できなくなっている。単価も相変わらず下げ続けている。
		製造業(印刷・同関連業)	当業種はほぼ100%受注生産であるが,減少傾向は変わらない。ある予測によれば,2020年頃には-25%との数字もある。現実味をおびてくると思う。
		製造業(一般機械器具)	現在は短納期少量の仕事が多いが,平均すると仕事量が落ちている。3か月前の方が仕事の引き合いも多かった。材料価格も高騰気味で,製品単価は変わらないのでやや景気が悪くなっている。
建設業		公共事業が少ない時期であり,民間工事の受注に左右される。毎年のものであるが,仕方がないのかもしれない。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	衣料品です。毎年6月~9月は厳しい状況です。夏物は単価が低くなる。まして,引き続き水害の影響もあり,買い控えのオンレあり。
		衣料品販売店	繁忙期が過ぎたため,悪くなっていると判断しました。
		和食食堂	ご来店いただくお客様の数,配達の数,ともに減少しています。
		タクシー会社	タクシー利用者が激減し,収入も前年対比大幅減,景気も悪くなっている。特に土曜,日曜,祭日のお客様減少のため,悪くなっていると判断しました。
		タクシー運転手	景気が良くない状況でお客様減少傾向が続いている。さらに深夜の利用客もますます減少にあり,悪くなっている。
		クリーニング店	品物の点数が減っています。
	企業	製造業(食料品)	売上げ,受注数が増えていない。
		製造業(金属製品)	異業種の得意先において発注件数が少ない。しかも最小ロットでの発注が多い。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良	家計	スーパー	パートさんが休んで小旅行に何人か行かれたので、やや良くなっていると判断しました。
		スーパー	6月からの酒類の価格上昇はあるが、点数は減らないと考えています。現在の良い傾向は続くと考えています。
		小売業（時計）	まだ金額面での上がりが少ないので消費上昇とはいかないと思うが、求人数も増加して仕事は入って来ていると思う。
		居酒屋	判断は難しいですね。（理由）コンビニの冷やし中華や食べ物の豊富さには個人店では対抗ができない状況。兆しとしてはテレビ番組にでたことで季節的に遠くからの来客に期待しています。
		中国料理店	少し余裕をもって生活できるような雰囲気がでてきている。
		観光型ホテル	夏を迎え、人の動きが活発になるので景気というか消費は伸びると思う。
		タクシー運転手	当方営業地区に国設のレジャー施設があり、その内容が、最近テレビ・マスコミ等に取り上げられ、相当来場者があったようです。また8月には恒例の音楽イベントも計画されており、入場人数が昨年よりも増加すれば、タクシーにも更なる營收増が期待されるところです。夏枯れのこれからの時期多少ともこういう形での増益に希望を持ちたい。
		写真店	七五三シーズンを向かえるため、やや良くなっていると判断しました。
	企業	林業関係者	福島県での住宅着工数の増加の傾向は加速すると考える。
		製造業（電気機械器具）	前年と比べ、受注額がやや増加する見込みです。
		製造業（電気機械器具）	エネルギー関係は国内は少ないが、海外向けが増えてきそうである。半導体や自動車関連は継続して多忙な状況が継続しそうである。
		製造業（化学工業）	当社への受注が増加しているの、その背景を聞くと「物が売れている」という答えが返ってくるが多い。特に化学業界の業況が良いようだ。
		製造業（精密機器）	社内は十分に仕事はありますが、全体的に案件も少ない。
		運輸附带サービス業	近隣の関係会社も作業が増えてきているとのことなのでやや良くなると思う。
	雇用	求人開拓員	6月より就活が解禁となり、内定率が高まり景気観としては良く感じると思う。実際企業募集は増えているし企業数も増えている感はある。
変わらない	家計	商店街代表者	先の見通しは良くなるとして足元はそんなに変わらない。仕事が少ないので過剰な安売り競争も見られる。
		コンビニエンスストア	6月～7月にかけて商品の値上げがある商品があるが、値上げ前の駆け込み購入の動きも無いため、変わらないと判断しました。
		コンビニエンスストア	夏の繁忙期を迎えるため、天候気温にも左右されそうですが、先行きが不透明ななか、短期スパンで景気が良くなるとは考えにくいと思います。
		衣料品販売店	客単価は上がっているが、来店数が減っている。
		農産物直売所	食事の増えるのを期待したいが全体としては、変わらないと思う。
		小売業（弁当・惣菜店）	今後緩やかな景気は進むと思われるが、地元大規模企業の構造の変化の影響か市内の中堅企業の倒産、もしくは整理といった話が聞かれ一進一退の様相である。
		小売業（燃料）	お客様の様子、行動からは特に大きな変化はない。
		小売業（酒類）	景気が良くないためアルコール飲料の販売も期待できない。
		小売業（水産物）	・客数の伸び悩み。・客単価の平行。
		スナック	外での贅沢にお金を使う若い人が減ったように思うから変わらないと判断しました。
	食堂	スーパーに行くと、かごの中を見れば使用する物のみを買っている。外食などで余分なお金は使用しない。	
	観光型ホテル	10月ぐらいまでは動きがないように感じる。	
	観光型ホテル	前年同期と比較して宿泊・日帰り予約ともにほぼ横這いであり、今後も予約が増える見込みがないため、景気は変わらないと判断する。	
	旅行代理店	3か月先の受注状況から判断。（受注額、受注件数に大きな変動がない）	
	タクシー運転手	大手企業の残業が最近かなり減っています。深夜の残業者の自宅送りの仕事が半減しているのが現状です。	
	タクシー運転手	飲食店等のお客様が少ない。	
	レジャー施設	景気が動向する判断材料が、身の回りで見られないため変わらないと判断した。	
	ゴルフ場	梅雨時期雨が多ければ減少、少なければ増加、気温が高ければ減少する。	
	ゴルフ場	来場者のお金の使い方が渋めなのは変わらないと思われるので、変わらないと判断しました。	
	ボウリング場	今後、夏休みシーズンを迎え、家族連れをはじめ、学生等、お客様が多く来店する時期であるものの、あくまでも一過性のイベントであり、定期的に来店されるリピーターが増加するものでもなく、平均して来店されるお客様の数・流動性に大きな変化が見込めない。	
住宅販売会社	良くなる要素が見当たらない。		

変 わ ら な い	企業	水産業関係者	変動の起因がない。
		製造業（食料品）	資材関係の高騰が販売価格に影響し、現状は維持できるが、更に良くなるにはいたらないと考える。
		製造業（電気機械器具）	新規案件追加なく変動がない。
		製造業（電気機械器具）	現況がピークともとれ、3か月先は現況と同等の見込み。
		製造業（一般機械器具）	特に大きな案件の情報もなく、現状の作業量を消化する事と聞いている。
		製造業（輸送用機械器具）	自動車各社は①将来の自動運転に向けた開発②欧州を中心とした電気駆動車の開発に注力するとともに差別化を目指しているが、国内の自動車販売環境の変化に大きな動きはないと想定される。
		運輸業	今でもそこそこ貨物は動いているので、変わらないと判断しました。
		金融業	先行き不安感はあるものの地元商工業者の活発な営業活動と、歴史ある日立ブランドの技術力で不安を払拭しようとする意気込みが強く感じられる。
		不動産業	好材料が見当たらないため変わらないと判断した。
		情報通信業（情報サービス業）	大きな変化はなく、しばらく状況が続くと思われる。
雇用	○	○	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	公共料金、宅配便運送料、ビールの値上げなど家計に直結する支出増により、小売店やサービス業が影響を受けると思う。
		ゴルフ場	①予約、来場の流れが7～9月比でマイナス6ポイント悪くなっている。
		美容室	ニュース等での年金受給額の引き下げや生活優先順位でのサービス業の低下など。
	企業	製造業（食料品）	スーパーも価格を重視しており特売で売りを作ろうとしている。当社も今まで特売はしない方向でしたが夏に向けて低価格品を用意した。特売も始めた。
		建設業	取引先の一部の企業では設備投資を増やすと聞いているが、当社を含め取引業者や銀行等の話から、先行き明るいと思っている企業は少ない。
	雇用	求人広告	景気が良いのは大手や一部業種のみでそれ以外の多くは従来の上で厳しい状況にあるように感じる。
公共職業安定所		求人を出している事業所が来所され「応募者が少ない」との相談が多くなっている。人手不足感が強くなった。	
悪	家計	○	○



## (2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ペット美容室	今までの経過ですと上向きになるはずなんですが…。
	企業	農業関係者	お盆やお彼岸の小菊の出荷も始まるほか、水稻の収穫出荷により景気は良くなると思います。
	雇用	公共職業安定所	先行指標である新規求人数でみると、管内の新規求人数は前年度比でおおむね増加傾向にあり、特に運輸業、医療福祉業、卸売・小売業、製造業などで顕著である。企業の人手不足感および採用意欲は高いままであり、当面は新規求人の増加傾向が続くと推測される。
やや良くなっている	家計	スーパー	今夏の長期予報は猛暑らしいので期待しています。
		コンビニエンスストア	今年の客数・客単価の推移から、冷夏などの異常気象がなければ景気はやや良くなると思う。
		コンビニエンスストア	天候、気温も高まり、お客様の消費は増えます。個店ごとの努力次第ですが売上げを上げていけるチャンスはあると感じます。
		割烹料理店	3か月後は稲刈りの時期なので、田畑に囲まれている当店は、やや良くなると思われまます。
		タクシー会社	水戸市役所建設工事は、今後基礎工事も本格化してくるので、関連業者の出入りが活発になってくると思われるためやや良くなっていると判断しました。
		タクシー会社	8月県内のイベント等が多く開催されることから県外のお客様を集客できるチャンスのもので、いかに県外のお客様を呼び込むかに取り組んでいます。よって県外のお客様集客を見込んで良い状況になっていると判断します。
		レジャー施設	夏期の賑わいを期待できることから、季節的な期待感である。景気が良くなっても一般市民につたわるまで数か月単位では、難しい現実です。お買い物袋が、さほど大きくないと感じます。
		ゴルフ場	7月から、平日に限り例年優待制度を導入するため非会員の予約が増加傾向を示しています。
		スーパー銭湯	GWの本県の良いムードと長期天気予報による猛暑の報道から海水浴客・各イベント等の集客に期待がおおいに持てると思っていますとともに期待するところです。
	理・美容店	3か月先は、お盆の月であるので、やや良くなることを期待したい。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	国・県施策により景気が微増だが良くなりつつあると思う。
		製造業（金属製品）	同業者による協力者探しの動きが増えているようです。オリンピック特需もありこれから徐々に、忙しくなっていくと予想されます。
		製造業（精密機械器具）	現在の引き合いや受注状況などから、特に工場設置型オンライン装置などの設備投資が活況を呈しています。
		不動産業	客単価の減少はあるが件数増加で十分カバー可能なので、やや良くなると思う。
情報通信業（情報サービス業）		営業エリア内に新規の幹線道路整備が進んでいるため今後も安定した発注が見込める。	
変わらない	家計	商店街代表者	変化をもたらす要因はあまりないのでは。
		商店街代表者	3か月先、景気の悪いまま変わらないと思います。
		百貨店	3か月先の9月も物産展など集客が見込まれるのは同じである。衣料品については残暑の影響で今月の客単価とさほど変わらないと予想されるため、変わらないと判断しました。
		百貨店	慎重に品を選び、迷った時は購入しない様子に変化がずっとないため、変わらないと判断しました。
		スーパー	消費が上向きような明るい話題が少ない。お天気次第だと思う。
		スーパー	収入が大きく伸びることは予想されず、食品に関わる家計支出は現状同じか、さらに絞られるのではないかと感じる。
		小売業	お孫さんに玩具等を買って行かれる方は増えているものの、親世代は、それを見越して自分達では買いつけないという傾向が見られます。
		自動車販売店	ここ直近での数か月の動向を見ましてもあまり台数等には影響がないようですので、変わらないと予想しています。
		農産物直売所	飲食（バーベキューレストラン）等の予約状況が今までと同じ率。予約コースの単価も平年と変わらず今までと同じ。
		楽器販売	この変化の無さはしばらく続きそうな気がします。
		レストラン	ボーナス時期で少しは動きが活発になると思われるが大きな期待は持てない。
		レストラン	宴会場、申し込み状況も平年並である。
		都市型ホテル	全く変化なし。
		観光型ホテル	例年通りの推移と思われる。
		旅行会社	この先もツアーの申し込みやバスの稼働が少ないです。
		ドライブイン	今後3か月先も祭事がないので変わらないと思います。
		観光名所	求人数が増えたり一部景気の良い話が聞こえてはくるが、業種によるのではないかと。旅行等の観光業では景気が上向きになる要素はあまりないと感じます。プレミアム商品券等の販売に繋がる起爆剤が欲しいところです。
		ゲームセンター	ハンドスピナーなど、小さなブームは、ありますが、業界を牽引するような大きなブームは、今年は皆無です。VR機器も物珍しさのみで、ブームと呼べる状態になっておらず、しばらくヒットがない厳しい状態が続くと思われまます。
		住宅販売会社	株価は多少良くなっているようだが、あまり影響を感じない。

変 わ ら な い	企業	製造業(食料品)	買い物客にゆとりを感じない。
		製造業(窯業・土石製品)	6月中旬以降は比較的落ち着いた。
		製造業(一般機械器具)	今後何が出て来るかわからない。
		建設業	先行きに関して投資しようとする雰囲気がない。
		運輸業(道路貨物運送業)	物流量は大きな変化はないと思われる。
		金融業	今年の大企業のボーナス支給が5年ぶりに減少との報道もなされ、生活防衛のための貯蓄意識が依然高いと思われ、全体として消費意欲が上向いているようには感じられません。中小企業・個人事業主においても、同様に設備投資等の計画はあるものの、実現に向けての動きは弱いと感じられます。そのため、今後3ヶ月程度では特段の変化は無いものと感じております。
		サービス業(広告業)	ここ3年くらい、9月の販促は消極的になっている。
雇 用	人材派遣業	受注見込みも前年並みに推移しそう。	
	求人広告	特に明るいニュースもない。	
	学校就業関係者	求人情報のなかの大学生の求人単価が安定しているため、変わらないと判断しました。	
	求人開拓員	有効求人数が増加傾向にあるが、正社員よりも非正規の方が依然多い。また、正社員求人の昇給、賞与でいずれか、または両方なしの募集が多く見受けられる。当センターへの求職者数の減少が、景気の上向き判断には、正社員の求人数及び雇用条件の改善が実感できるまで時期を待つ必要があるのではないかと考えている。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	財布の紐が固い状態が続くと思うので、やや悪くなっていると判断しました。
		スーパー	政治的な要因で良くなるとは思えないため、やや悪くなっていると判断しました。
		都市型ホテル	現在の予約状況から見て大きく伸びる予測はない。夏期シーズンは特に落ち込むことも予想される。
		旅行代理店	安心安全の上に成り立つ観光業としては、ヨーロッパでのテロや北朝鮮問題など不安なことが多い。また大洗での被ばく事故もインバウンドに影響すると思います。
		タクシー運転手	タクシー利用のお客様は減少傾向にある。客単価なども若干下がり気味であることから考えても景気はやや悪くなると思う。
		レジャー施設	昨年同時期と比較して問合せ自体も少ないため、やや悪くなっていると判断しました。
		建築設計事務所	設備投資が減少傾向であるのに対し、設計事務所数が変わらない。公共事業の設計委託料もダンピングが激しくなっている。
企 業	建築設計事務所	設備投資が減少傾向であるのに対し、設計事務所数が変わらない。公共事業の設計委託料もダンピングが激しくなっている。	
	製造業(食料品)	一部得意先にて、需要減少の可能性あり。	
	製造業(印刷・同関連業)	お客様との話においても良い話がなく、また販売価格の下落が予想される。	
悪	-	-	-

## (3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	市の施策等による観光客誘致に積極的に取り組むなかで“おもてなし”の実践により、リピーターの増加につなげていきたい。
		洋食食堂	大型公共事業や大型店舗が出店予定で、人や物やお金が動くと思う。
		タクシー運転手	予約が増えています。平日でも予約が多いです。
		タクシー運転手	町に活気が出てきたから、やや良くなっていると判断しました。
		ゴルフ場	予約状況からするとやや良い状態。
		理・美容店	暑くなってきて、カットするお客様が増えていると思う。
	企業	農業関係者	所得も昨年よりは増加し、個人消費にある程度増加分が向けられて、当面売上げは順調に推移するものと思われる。
		製造業（食料品）	当社業績は今後も上向く見込み。
		製造業（食料品）	売上げを伸ばす方法などを検討している。
変わらない	家計	製造業（電気機械器具）	引き合いも少しずつあり仕事は確保できそうだが人手不足が懸念される。
		スーパー	現状維持のまま進みそう。
		コンビニエンスストア	現在のまま質の高い商品の提案や生活必需品の強化を進めていくことで客単価を押し上げていくと考えます。しかしながら、競合店の出店も相次ぐため、今まで以上に選ばれる店作りが必要だと感じます。
		コンビニエンスストア	短期間では変わらないと思うため判断した。
		家電販売店	傾向はある程度継続するので、変わらないと判断する。
		農産物直売所	基本的に下がることはあっても、上がるとことはあまり考えられない。で、とりあえず変わらない。
		農産物直売所	・欲しい物は買う。・商品は変わらず、リピーターが多いため、変わらないと判断しました。
		小売業（菓子類）	特に景気に変動を与える要素がない。（政策、消費を刺激するイベントなどが無い）
		小売業（酒類）	気候による影響が少なくないが良くなるとは考えにくい状態。
		小売業（食品）	ビール類の値上げがやや良くなっている景気にどのような影響がでるか心配です。
		和食レストラン	お客様の利用動向から見て、客単価は微減の傾向が続いており、財布が緩くなってきているとは思いません。現在の景気動向は安定しているとは思っているが不確定要因（米国、北朝鮮等他国の動向、天災等）も多く潜在的に感じていることから、この傾向は続くと思います。
		割烹料理店	お客さんの話では、仕事はあっても、飲みに行くとトラブルなどがあるとコンビニエンスストア内の仕事なくなるなどということも聞くので飲みに行くのを控えていると言っていた。
		日本料理店	特に良くなる話をしていないので自分たちでお客様に喜んでもらえることをしないと良くはならないのでは？
		観光型ホテル	3か月後の予約を見ても変わらず、例年通りだから判断しました。
		タクシー運転手	まわりを見てもワクワクするような状況はまったくなく、こんな状況ではサービスの低下につながるのではと思う。新しい投資もできず…。負の連鎖になる。
		ドライブイン	サービス業などの従業員の人手不足が懸念されるため、変わらないと判断しました。
		レジャー施設	マリンスイムン中ではあるが、新規のお客様の増加も少ないが、既存のお客様の利用は安定しているので、変わらないと思う。
		理・美容店	広告効果は一過性の物なので、継続的に売上げ増加にはならないと思います。景気自体は横這いと感じますのでアイキャッチの高いメニュー等のアイデアで売上げ増加の努力をしないと横這いもしくは低下になると感じます。
	住宅販売会社	賞与が期待出来なかったという声を聞くため、変わらないと判断しました。	
	住宅販売会社	変化がない。	
	企業	製造業（食料品）	お客様の可処分所得が増えないと上がらない。
製造業（食料品）		関連業界は構造的な価格こう着状態に陥っている。	
製造業（食料品）		人手不足や残業問題などで大口の仕事が受けられない。	
製造業（金属製品）		経済全体が好循環ではないので、急に良くならない。世界経済が全体的に鈍化しているので、日本もその影響を受けていると思う。	
建設業		希望的には『良くなっている』に期待していますがなかなか上昇傾向にないと思います。	
建設業		低所得者の人は家は建てる人が多いようです。大手建売業者さんなどは建売りが多く売れているみたいです。	
運輸業（道路貨物運送業）		片道輸送の仕事が多い。往復輸送のタイミングが取りづらくなっている。	

変わらない	企業	金融業	建設業等の一部業種では、受注の増加はあるものの、全体的に景気がよくなる要素が見えないため、変わらないと判断しました。
		保険業	少し火災保険は伸びているが自動車保険が減っている。
		不動産業	全体的に景気の回復の兆しはみられないと思う。
		内装工事業	去年と代わり映えないような景気でしょかね？数年後には東京オリンピックがあるけれどオリンピック景気なんて関係なし。田舎で仕事をする私にとって、よその国のように感じる。
		サービス業	今年は大型GWということもあり、新年度スタートの新規大型案件の出足が若干滞っているように見受けられるが、全体感としては大きな変化はない。
		火力発電所	受注量に変化なし。
変わらない	雇用	人材派遣業	1. 今後3か月先で更に良くなる要因が見当たらないし悪くなる要因も見当たらない。2. 各企業とも円(安)(高)で振られると良く耳にします。よってこの円(安)(高)と原油(安)(高)の変動が大きくなれば良悪に急に変動あり。
		民間職業紹介業	求人企業は増えてきているものの、求職者が依然少ない状態が続くと思われる。全体的な労働者人口そのものが減ってきていることがあるのと、求職者の希望条件が高くなっている。
		学校就職関係者	良い情報がないから、変わらないと判断しました。
		求人開拓員	現在もそうではあるが、異常なほどの人員不足で仕事はあるが受注できないと様子である。公共機関及び一般広告やネット等を利用して人員募集を試みるも思うように集まらないとのこと。(東京オリンピックや求職者の条件の高望み等が影響しているのではないかとのこと)
やや悪くなっている	家計	スーパー	ビールの値上げがあったため。
		スーパー	(1) 可処分所得が増えていない感じで、一部商品の値上がり等があり買い物にやや慎重な感じがします。(2) 競争の激化。
		小売業(書店)	これからはスマホをはじめとするネット普及は進む一方のため、やや悪くなっていると判断しました。
		タクシー会社	アメリカの政策により円高となると思う。
		レジャー施設	若年層の乗客が年々減少計にあるため、本来きていただける機会の多かった夏休みでの取りこぼしが多くなるのではと思うため、やや悪くなっていると判断しました。
		クリーニング店	例年通り残暑厳しいので、自宅で洗える洋服になってる。数は減少している。
悪	家計	小売業	すべての業種において、人手不足による人員確保に努めているが、思うように人員を採用できていない状況である。今後も求職者数の減少が継続するとわれ、人手不足感は続くものと思われる。

## (4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	住宅設計販売	仕事量が増え続けているため、良くなっていると判断しました。
やや良くなっている	家計	家電販売店	9月は夏物処分から暖房商品が出始めるので、6月と比べると同じような季節の変わり目ですが、9月にお引越をされる方も多いため、6月よりは良くなっているのではないかと思います。前年9月の売上げが悪かったのですが、4月頃からは、売上げ回復してきているので、このままの調子でいけば6月(今月)より良いのではないかと思います。
		小売業(食品・酒類)	2020年東京オリンピック開催に向け、社会全体が明るい方向に向かっている。茨城県でも19年に茨城国体開催が予定され気運は上向き感じ。反面、テナントでは人材確保が難しいという現状課題の声も聞かれますが、消費に大きく影響する域には達しないと感じる。
		専門スーパー	地域のお客様の声を大切にし、品揃え、提案方法の見直しを行い、良くなって欲しいと願います。
		和食食堂	ディナー帯の客数が戻れば原価、クオリティを上げ、客単価を上げる戦略のため、やや良くなっていると判断しました。
		日本料理店	宴会等、土用の丑(うなぎ)等があるので今月よりはやや良くなると思う。
		寿司店	こここのところ新年度が始まって、新入社員の歓迎会で利用してくれたり、決まった人たちの中に新人がいたりとちよつとですが変化があります。
		都市型ホテル	宴会の人数(1件あたり)は最近減少しているが、1人単価が少しずつ上がってきているように思われる。
		旅行代理店	受注の間合せ、申し込みの様子を見ると少し上向き景気かなと思われる。
	タクシー運転手	一般のお客さんからの注文は増えているため、やや良くなっていると判断しました。	
	企業	製造業(金属製品)	新規の機種が加わる予定ですので売上げが多少増えると思います。
		製造業(飲料)	夏に向かい、暑くなれば飲料が売れると思う。
		建設業	官公庁関係の工事はこれから出てくるので3か月先は工事量が増えているのが当然なのだが、7～8月発注の工事見積りをかなりしているので工事量は増えてくると思う。よって、景気はやや良くなっていると思う。
		建設業	不動産購入意欲のある方が増えている。
	雇用	建設業	取引先の受注が増えている当社もそれに伴い受注が多くなっている。
人材派遣業 求人開拓員		重機、半導体、自動車関連の繁忙はまだ続くと予想される。 今後も企業の求人が増え続けそうな気がします。	
変わらない	家計	スーパー	今後もそれほど変わらないと思う。
		スーパー	今のところプラスと件はなくお客様の動きも鈍くなる時期ではあるがいつものことなので変わらない。
		コンビニエンスストア	ここ数年、変化がないように思われるため、変わらないと判断しました。
		小売業(生花店)	店舗前を通る歩行者の数が以前より減って来ているように感じる。専門店の商品を購入目的に来店するお客様以外はほとんどいない。店頭を通過する車両の数が減り、渋滞の数が減ってきた。
		和食食堂	まわりを見れば廃業店が多い。
		洋食食堂	本店の場合です。男性が還暦を迎えても再就職する方が多いので収入が少しでも入ってくる限りは来店してくれると思いますので特別に減収はないと考える。家族のイベントとして誕生日会、還暦祝い、退職祝い、法事の予約が多い。
		都市型ホテル	現在の宿泊・婚礼・宴会のオンハンド状況より判断すると昨年同時期と比較してもあまり変わらないと思われます。
		タクシー運転手	一般のお客様を見てもタクシーには乗らずデマンドタクシーにお年寄りや流れて病院までのお客様が少ない。
		タクシー運転手	・地方中小企業の業績が横這い傾向。・世帯、人口の増加が期待できない。 お客様のお話の内容があまり景気が良くなっていないと言っていた。



変 わ ら な い	家計	サービスエリア	しばらくは圏央道の影響が続き、交通量や入館者数の変動が生じると思われるが、お客様個人の消費の傾向についてはそれほど変化はなく、今後3か月間においても特に影響のある事象は見当たらないことから、景気動向についてはとりあえず変化なしと判断した。
		ゴルフ場	季節要因を無視できない業種であるが、3か月先の予約状況などから昨年との変化は感じられない。
		ゴルフ場	大きな変動となる、要素がはっきりと見えてこない。来場者数にも大きな変化はなく景気が悪くなる様子も見受けられない。3か月後もこのまま良くとも悪くもないのではないかとと思われる。
		工場見学案内	2017年4-6月の売上げ及び団体客の伸びは販売促進、代理店工作強化によるものを差し引いても急激であり、2016年4月から本年3月までの傾向（各々前年同期比96.2%、98.1%）から推察するに本年7-9月で4-6月以上の伸びを示すとは考えづらい。但し、新年度に入り4-6月の3か月連続で好調が持続している状況も事実であり、（今回の回答とした）変わらない、もしくはやや良くなっている、と判断する。
		ボウリング場	身のまわりの諸情勢に大きな変化はないが天候の変異によっては？観光事業や農産物に大きな影響が懸念される。
		レジャー施設	ボーナス支給等の時期だが、顧客の高齢化が進んでいることと、今後しばらく大きなイベント等がないため、大きな集客増は見込めない。
		理・美容店	夏に向かって暑くなっていくので、自分の仕事の的には忙しくなってくるとは思いますが、世間的にはそんなに変わりはないと思います。今後のオリンピックなどに向かって良くなればいいですね。
		住宅販売会社	しばらくこの状況は続きそうだ。
変 わ ら な い	企業	農業関係者	お客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（食料品）	政策で物価が上昇すればと喜んでいるようですが我々小企業は値上げするわけにはいかないので物価の上昇は望んでいません。
		製造業（食料品）	地方においては景気の良い話が聞かれず、変わらないと思います。
		製造業（家具・装備品）	毎年のことですが市場に居りますのであまり変化はないと思います。
		製造業（印刷業）	鋼材の値上がり等、仕入れ状況次第になると思うので、変わらないと思う。
		製造業（窯業・土石製品）	人手不足等により工事が進まない。
		製造業（窯業・土石製品）	特に景気が上向く要素が見つからない。
		製造業（非鉄金属）	受注増加の好材料となるものが特にない。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらないため、変わらないと判断しました。
		建設業	先行きを見込めないので現状維持。
		運輸業（倉庫業）	貨物の荷動きについては、大きな変化みられない。
		金融業	土木工事・建設業者等の一部の企業については、公共工事の需要等もあるが、全体的には大きな変化はないと思われる。経済効果等にすぐに結びつくようなプロジェクトもほとんどなく、引続き現状程度にて推移していくものと見受けられる。
不動産業	顧客や取引業者の動きからも、特段特別な状況はみられない。ただし、長期的にはアパートローンに関する金融庁からの引締めの影響が出ることは考えられる。		
変 わ ら な い	雇用	求人広告	広告業界は比較的景気に敏感な業界だと感じるが、販促・採用とも横這いな状況が続いている。
		公共職業安定所	4月分新規求人数が前年対比増加に転じたが、季節的な要因もあると思われる。また、求人倍率が新規および有効ともに新規1.00倍、有効0.75倍前後で28年4月から推移しているので先行きは変わらないと料する。
		学校就職関係者	退職者に対して少子化の影響で若年層以外の求人も一定水準で推移していくと考えられるため、変わらないと判断しました。
や や 悪 く な っ て い る	家計	百貨店、総合スーパー	客数は年々減少傾向であるため、今後3か月先も変わらない、または減少していくのではないかと？消費者の心理として高額品や価値ある商品の動向は良くなっている。
		スーパー	昨年10月にポイントカードを導入して一年が過ぎようとしていて9月～10月は苦しいと思われます。
		コンビニエンスストア	1. 人員不足によるサービスレベルの低下 2. お客様の買い控え
		農産物直売所	野菜が安いとスーパーに買いに行く、高いと直売所を利用する傾向がみられる。当店は各スーパー5店舗に囲まれているため激戦区であるため厳しい状況である。
		小売業（米穀）	9月、新米の時期ですね。今年も昨年に引き続き米価が上がります。その値上がり分を販売価格に上乘せは厳しいと思われます。30年問題から、新品種が続々誕生します。その仕入れもどうなるか予想が付きにくいです。
悪	家計	タクシー会社	これから見通しが付かない気がする。
		理・美容店	世界の情勢が不安定だから、悪くなっていると判断しました。

## (5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	和食食堂	昨年10月、8月頃からテレビに3回くらいラーメンの宣伝。筑西市の町おこしです。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	天候不良がなければ消費動向は悪くならないと思います。客数・客単価は今後も上向き傾向と予想します。
		衣料品販売店	新学期による買い替え等が増えるため、やや良くなっていると判断しました。
		和食食堂	現在の景気がとても悪いのでまさかこれがこのまま続くとは思えない。
		タクシー運転手	過去の売上げから想定して、やや良くなっていると判断しました。
		ゴルフ場	長期予報および先行予約も良く高齢者の行動状況も良く感じる。
	企業	農業関係者	現在、農業機械の買い替えや、増やす計画をしている生産者が近年に比べ多いように感じます。(相談件数が増えています。)3か月内に実行されると思われるため判断しました。
		製造業(金属製品)	発注元の在庫が正常に戻り、徐々に発注量が増える事を期待する。
		建設業	公共事業の発注が増えてくる時期である。多くの工事予算が出ることに期待したい。
	雇用	人材派遣業	大きな仕事ではないけれど、良くなると思います。
		公共職業安定所	求人数は増加している一方、求職者の減少により、福祉関係、建設関係の業種では依然と人手不足が続いている。その影響で今後業績に影響が出るとする企業もある。また、建設関係では景気の拡大はオリンピックが開催されるまでで、その後は景気は後退すると予想する企業もある。
変わらない	家計	商店街代表者	これ以上悪くならないことを期待します。
		スーパー	チラシ価格で客数増減を顕著に確認できます。あたりまえと言えばあたりまえですが、好景気時には、買い物動向も価格を気になさらないお客様もおいでですが最近、皆様慎重です。
		スーパー	年明けから5か月、数値傾向が変わっていない。
		コンビニエンスストア	環境の変化、景気による売上げの改善は感じられず、商品、店舗の改装や接客の改善による顧客ロイヤリティの向上の必要性が感じられます。
		自動車販売店	良くなる要素がない。
		農産物直売所	低金利が続くとどうか。野菜果物の相場はそんなに強くない。
		製茶販売	出し渋りではないがお金が回らないからこれからの景気が良くなると思えないし悪くもならないと思う。
		旅行代理店	お客様をいろいろなアイデアを出して集客していますが、半分くらいしか集まらないです。年金が毎年少なくなるし働くところも少ないと65歳以上の方が話されました。燃料費も高くなったままであり、経営者としても大変な世の中であると思っています。デフレの傾向はまだまだ続くことでしょう。
		ドライブイン	お客様との会話の中で「また来ます」という言葉よりも「しばらくこれない」という言葉の方が多く聞かれるため変わらないと判断した。
		ドライブイン	夏のボーナスがどれだけ消費やレジャーに向かかにもよるが、現状ではあまり期待できるような動きは見受けられない。圏央道の県内全線開通効果に期待したい。
		ゴルフ場	先行予約状況より判断した。
		ゲームセンター	現在変動する要因が見当たらない。
		レジャー施設	予約の状況などを見ても前年と変わらずに推移している。人数は増えているが少し気になるのが1人当たりの単価は低いように思う。
		理・美容店	圏央道が開通したが今のところ大きな変化はない。
		建築設計事務所	きっかけがあれば動くと思うが3か月は短いので変化なし。
	住宅販売会社	良くなる兆しが見えない。かといって悪くなることもない。	
	企業	農業関係者	日銀が打ち出したゼロ金利政策により、運用利益が出ない状況。
		製造業(食料品)	粗利が増える要因がないため変わらないと判断した。
		製造業(印刷・同関連業)	夏季にかけてお盆休暇等、またまた休日が増えるがお客様の状況を把握し、提案型の営業に心掛け、仕事量(注文)増えればと思っている。気持ちではめげず常にポジティブな考えでいければ良い結果につながると信じる。
		製造業(印刷・同関連業)	圏央道が開通したが、地域経済には目立った効果は出ていない。景気が良くなるファクターが見つからない。
製造業(化学工業)		市場・顧客で大きな需要変動の具体的情報がない。	
製造業(窯業・土石製品)		中国のメーカーも仕事も日本から入らないので、日本市場で安売り合戦になっています。また現在、円高に多少動いていますので、その傾向は私たち国内加工メーカーにとって、マイナス要因になっています。	
製造業(電気機械器具)		長期的な変動把握は難しい状況ではあるが、現状の状況を考慮すると、当面継続すると思われる。	
建設業		現状と変わるような出来事がないため変わらないと判断した。	
金融業		先行きに関しては、漠然とよくなってほしいとの期待感があるのみで、受注や販売状況に関しては不透明感が感じられるため、変わらないと判断しました。	
サービス業(コンサルタント業)		変化はないと思う。個人所得に変化がないので景気を押し上げることにはならないと感じている。	
雇用	求人開拓員	現時点で今の状況だと、3か月先も企業に人が集まるとは想像しにくい。	

やや悪くなっている	家計	専門スーパー	電気, ガス代や宅配便運賃, その他諸々生活に関わるものの値上げ傾向なので財布の紐が固くなり現状よりやや悪くなると思います。
		日本料理店	仕入れ, 人件費の高騰, 利益が取りにくくなっている。
		飲食業	お客様が外食を控えていらっしゃる様子です。
		都市型ホテル	この業界の低迷期は変わらず, 売上げが伸びる見込みはありません。これ以上, 低迷しないように努力するのみ!! です。
		旅行会社	夏休みでお金を使い, 9月は残暑のせいもあって, 人の動きが悪くなる。10月~11月は旅行シーズンなので例年通りだと思う。
		商店街代表者	需要の停滞により注文数, 来客件数も減少しており, 売上げが低調傾向なので景気はやや悪くなると思う。
		企業	製造業 (印刷・同関連業)
製造業 (一般機械器具)	材料価格の高騰が続く可能性がある話があり製品単価への上乗せが難しいと思われる。		
悪くなっている	家計	商店街代表者	負のスパイラルに落ちた感じです。
		タクシー会社	身近でも景気回復には程遠い状況のなか, タクシー利用客が増えることは望めない。また乗務員不足の深刻な問題を抱え, 営業収入減が予想されるので悪くなる。
		タクシー運転手	景気回復は早急には望めないため, 今後3か月先はお客様増は期待できないため悪くなっていると判断しました。
		クリーニング店	本当なら夏のボーナスで少しでも良くなればとは思いますが…。
	企業	製造業 (食料品)	良くなる要素がない。
雇用	求人広告	クライアントへ訪問する際に雑談で景気の話をするが, 景気が良いと答える企業がほとんど見当たらない。ネガティブな話が多く, クライアントの受注減や在庫余りなど景気の悪さを聞く機会も増えている。そのボーナス支給を見送るなど今後の景気に響く話も聞いている。	



Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	近隣の飲食店などでは、チェーン系の低価格店と、一部の高付加価値、高単価の店は順調のようだが、ほかは低調だと聞いている。小売業もそれと同様だと感じられる。特に当地域は流出による人口減少が続いており、真綿で首を絞められるように弱って来ていると思う。
	商店街代表者	今年度から建設業では必ず見積りに法定福利者を記入することとなり、実施されている。ただし現実に仕切り値価格にオンされるかどうかは不明。競争が激しいので難しいのではないかと。県発注の工事に対しても専門工事業者からの聞き取りアンケートを実施して欲しい。
	スーパー	1. 消費税の対応としての税抜き価格と税込み価格の表示が再度各社に明確にしてお客様対応をしていくようになりました。2. 逆に衣料関係は価格対応が多く見られ厳しいようです。3. 大量買いがかなり減っています。必要のない物は買わない傾向は今後も続きます。
	コンビニエンスストア	お客様の心理は、より価格に敏感になっていると感じます。「より安く」というよりは、「良い物を、より安く」の傾向が強いと考えます。
	小売業（弁当・惣菜店）	県北芸術祭の2回目開催の話や、地域が題材になった小説の映画化、ユネスコ文化遺産など興味深い話は多い。地元景気への期待もあるが、郷土への認識が高まることを期待したい。
	小売業（燃料）	低価格を求める傾向は強くなってきていると思う。
	小売業（水産物）	・人口減少のせいなのか客数が伸びない。・買い物に対しての購買欲が弱い感じがする。
	小売業（時計）	市外からの訪問者は増加しているようです。菓子店などの売上げは良いようですが当店の販売にはプラスには、なっていません。
	レストラン	県北の景気が良くなることを祈りたいです。
	スナック	エコカーの売上げ軽自動車の売上げが良いこと。ホームセンターの売出しに人があふれていること。
	中国料理店	夜の会合、会食、(会社等)家族の会食などは減ってきている。
	食堂	40年営業して思うことは皆様がより金の使うのを考えている。ファミレスに行ったら高上りで、大盛りにできない。5人で来ても子供分は頼まず皆で分け合って食べる。それだけより金を大切に我慢している。サービスだよ、食べてねと出してきたので皆様が長年来てくれる。バイトさんに(うちでは)怒られる。
	観光型ホテル	お客様のメリハリがはっきりしている。自分がよしと思うことに関してはお金は使う。
	観光型ホテル	NHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の放映により県北の観光需要が盛り上がることを期待していたが、特に変化がみられない。残念。
	タクシー運転手	日立市の人口減少がこれ以上続くと景気はかなり悪影響があると思われます。
	タクシー運転手	世界各地でテロ発生や、ミサイル発射とか、国際的に治安の悪化や地政学的な不安定要素が多くなり、いまだかつてない不安な世の中になってきていると感じております。世界が平和でなければ景気上昇も見込めません。東京オリンピックも予算的なものも含め着々と開催に向けて進行しているようです。今後はどうか国際平和が維持され、それを前提に景気上昇を望み当方タクシー稼業の増収を祈念するのみで
	ドライブイン	GW等天気も良く、乗客数は多かったが、客単価が低かった。
	ゴルフ場	東京からのお客様の話でも良くなっていないとのこと。
	ゴルフ場	①天候不順の影響は前年比53%で減っている。②ゴルフ健康増進への関心が高まりつつある。③全米オープン、松山選手、第2位でゴルフの人気が高まればと言う発言が出ている。
	住宅販売会社	ボーナス回答があまり良くなかったとの声を良く耳にするようになった。
企業	製造業（食料品）	資材関係の値上がり著しい(段ボール、石油系資材)。今後製品価格に影響が出ると考えられる。
	製造業（電気機械器具）	採用が思うようにいかない。新卒、中途どちらも苦戦している。ハローワークに求人を出してもなかなか応募がない状況である。
	製造業（食料品）	県民の生活の格差があり中小企業や派遣社員は考えている以上に生活が困っている人が増えているのではないかと。このままいくとやがてどうなるか心配。
	製造業（化学工業）	特に大きな変化はないが、金融機関は貸付に苦労している様子。
	製造業（電気機械器具）	最終ユーザーを見ると、「ロボット関連」「次世代自動車関連」などが、好調な部類となっている。
	製造業（輸送用機械器具）	先ごろ開催されたイタリアG7における地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」に対し米国トランプ大統領が正式に離脱表明を発表した。この結果、今後の米国の自動車業界にどのような変化が表れるのか注視する必要があると思う。
	製造業（精密機器）	情報の重要性を感じています。関心を持って見ないと見えないというのが怖い。差別化につながります。
	製造業（精密機器）	仕事を待っている企業が多くて、作り出すことをしなければ今後仕事は増えないと思う。将来は大変になってくると思います。
	運輸業	倉庫の引き合いも増えてきた。また倉庫や敷地を買取りたいという業者も増えてきた。
	金融業	高齢者の割合が高くなっており、住宅着工も少なく人口の流出が継続している。市内飲食業者も閑散としており、後継者の確保も困難で、自分の代で事業終了を考えている事業者も多く見受けられる。
	不動産業	売れるものと売れないものの差が激しい。
	運輸付帯サービス業	今年は暑気払いが早まっており、飲食街が賑わっている。
	雇用	公共職業安定所
求人開拓員		大手企業の一次下請けの倒産があり一時的な不安度合は高まったが民事再生の申請受理の情報があり一安心というところか。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	業種・業界によって、かなり差を感じます。
	商店街代表者	経費節減のため簡易印鑑ネームの写りや調子がおかしいので修理して欲しいとか、回転日付印の注文において器具を持ち込みゴム印面の修理を依頼されたり、ゴム印の受注でも電話や住所の変更部分の修理をして欲しいと言われ修理できるものは修理するが手間がかかり価格に反映されないので大変です。
	百貨店	気に入ったもの、欲しかったものについては高額品でも購入されその他については慎重に考える。(購入しない)高額品の動きが良いイベントもあり、二極化の動きがあるように感じられる。
	スーパー	お店の状況から言えることは、来店客数が若干、少なくなっている。お客の買い回り傾向は多くなっている。
	スーパー	食料品についてはまとめ買い傾向が薄くなり、必要最小限での購入の傾向がみられる。
	スーパー	学習塾が商業施設内に移転したり新築で建設したりと今までにない動きを感じています。
	コンビニエンスストア	・流行・話題商品に対しては、価格に関わらず購入する傾向が増えている。・インターネット通販の利用者は、すべての世代で増えている。特に高校生・高齢者の増加が目立っている。
	小売業	結婚式をした友人、知人の約6割がお金のかかる披露宴はせず多少豪華な旅行に回したり、貯金をする感じでした。
	農産物直売所	ギフト商品(メロン)の箱売りの売れ筋が4~5玉入りの大箱から2玉、1玉入りの小箱へのスライドが今年も加速した。
	レストラン	2月からプレミアムフライデー企画を打ち出しているがまだまだ対象の企業が少なく動きがでない。
	観光型ホテル	相変わらず団体客は減少傾向にあるが、個人客はシニア層中心ながらファミリー層も目立つようになってきた。
	旅行代理店	大洗の被ばく事故が気になります。(自分がでなく、世界の目が)
	タクシー運転手	水戸市内の繁華街は、お客様が少なく閑散としている。とにかく、お客様が集まるようなイベントを積極的に展開していただきたいと思います。
	タクシー会社	一般顧客のタクシー利用に対する考え方に変化があるように見られる。タクシーを身近に感じてその利便性を理解され、気軽に利用されている方が増加傾向にあり、特に妊婦の方や保育園・小学生・中学生の学校、塾等の送迎に利用されている方が多く見られる。
	レジャー施設	アルコール街の方々をみると、若者が高齢者に比べて多いと感じる。さほど経費をかけないで楽しんでいる。そんな時代？を感じます。あまりお金を掛けないと思います。年配者は、このくらいは当然と使いますが…。
	ゴルフ場	プレー後のパーティに関して、当社において実施せず他へ行ってから表彰式等を行う会が多くみられます。
	ゲームセンター	業界がどこも厳しいなか、さまざまなイベントをしており、お客様視点で見ても、かなりお得なイベントやサービスが行われておりますがほとんど知られていない状況です。新聞、HP、LINE、ブログ、ツイッターなど告知手段が多くなり過ぎ、ターゲットを絞れず、サービスにサービスを重ねる状態が続いているように思えます。
	スーパー銭湯	ここ数か月の間に求人誌だけでなく、求人募集の案内が店頭で数多く掲出されており、のぼりの求人募集まで目に付くようになり、人手不足がひしひしと感じております。
	建築設計事務所	新築案件が少なく、改修や用途変更といった既存建物の再利用案件が多くなってきている。
	住宅販売会社	来店客数が徐々に戻ってきた。
	企業	製造業(食料品)
製造業(印刷・同関連業)		人材確保(雇用)の動きがある企業が増えてきた。
製造業(印刷・同関連業)		報道されているような景気の上向きは感じられず、中央と地方の格差がはっきりと感じられる。
製造業(窯業・土石製品)		動きがほとんどない。
製造業(一般機械器具)		街を歩く人、タクシーに乗る人、増えていません。何か、大きなイベントを作って人を集めること、住宅を増やし人を増やすこと等をやってほしい。
製造業(精密機械器具)		東南アジア進出の日系企業から、標準品や特注オンライン装置などの受注が増加をしています。
建設業		身のまわりの二極化が鮮明にあらわれ、働く者の貧困格差が情けなく感じる。本人達はその日暮らし、先が見えないのに努力する雰囲気でない、ただ流されているのだ。
運輸業(道路貨物運送業)		若年層の新規採用に苦労しており、中途採用でしのいでいる。
金融業		京成百貨店の中元商戦の開始の賑わいの様に、一定以上の富裕層に於ける消費行動は盛んなのではと感じられます。筑波西武がH29年2月に閉店し、県内の百貨店は京成のみとなるなかで、従前は筑波へ買い物に行っていた顧客の一部が水戸へ来ることで、活性化が図られればと考えております。
不動産業		今まで以上にお客様からの要望が強くなってきていると感じる。
情報通信業(情報サービス)	茨城空港の神戸便往復を利用したときほぼ満席のフライトであったため、人の動きが活発になっているのを実感できました。	
雇用	公共職業安定所	人手不足が大きな課題になっているが、当所が実施した管内企業の現況調査によると、人手不足の対策としては、賃金引き上げ、業務縮小、派遣会社の利用を検討している企業が多い。
	学校就業関係者	学生が主催した大学周辺の店舗で当大学パーバルが開催された。大学周辺の飲食店の参加があり行列のできている店もあった。そのほかにも千波湖周辺や水戸芸術館などの街中イベントが増えたように感じる。
	求人開拓員	IT関連企業(ソフトウェア業)の求人に対する人手不足が目立っている。県内はもとより、東京、千葉からも求人依頼に来所される企業もある。また、製造、販売・サービス業(飲食業、小売業)といった業種の求人があっても、応募・採用が結び付かないといった傾向もみられる。

## (3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	横綱稀勢の里の奉納土俵入りがあり、相当の賑わいをみせた。こうした一過性ではなく恒常的な賑わい創出に向けて、官民一体となった取り組みの必要性を感じる。
	コンビニエンスストア	日用品を値頃感ある価格で打ち出し、売価の変更を実施したことでお客様の買われ方に変化がみられた。過去にとらわれず商圏の可能性から品揃えを見直すことで需要はまだまだ掘り起こせると考えます。
	農産物直売所	相変わらず、財布の紐は固い。
	農産物直売所	メロンを買いに来るお客様は金額的に変動しないかな…。
	小売業（酒類）	3か月スパンで景気を判断するのは短すぎると思われる。
	小売業（食品）	夏場に向かってビール類の値上げが気になる。梅雨なのに雨がこない。畑の野菜が心配です。（値上がり）
	小売業	当店は、贈答品の小売販売店です。人づきあいの、合理化、簡素化が進んでいると感じます。地域は企業も多く、働く方が家を建てるなど、活性されています。
	小売業（書店）	近隣に飲食店の出店が多い。物ではなく食に金をかける層が多い。
	和食レストラン	実感の景気良化感はないものの、各企業の求人数は多くなっており、大きく売り手市場となっています。この状況下では、サービス業（休日が稼ぎ時の企業）は求人が厳しくなっている（人材確保が厳しい）のを感じます。
	洋食食堂	大型店舗の出店が続くが、スタッフの賃金体系が個人店では用意できない数字になってきている。新聞折込等のスタッフ募集も効果がなく、人が集まらない。
	割烹料理店	自分の子供が免許を取り、ハイブリッドの車に乗り出したが燃費が良いのでガソリンスタンドにあまり行かないと言っていた。ガソリンスタンドも大変になっていると思った。
	日本料理店	引き続き良いところは良くまたは現状維持、悪いところの会社は下がり傾向の話が多い。
	海鮮料理店	平日のランチ（1000円位）の値段を食べる人達は、社員が多く季節の事もあり休日などはコンビニで食事をする家族連れが多いと思います。また、夜は居酒屋さんで家族の食事会をしたりでファミレスと同じように利用している方々が多くなり、料理屋としてどこまでお客様の希望に応えるか？できるか？本当に難しいです。
	観光型ホテル	お客様、あまりお金を使わない。
	タクシー運転手	神戸市では警察署ができたり、道幅が広くなったり景気に関係しそうな気がする。
	タクシー運転手	外食業界の新規出店などはみられる。住宅の新築現場も多くなったように見える。若い世帯には購買意欲はあると思える。
	ドライブイン	圏央道の開通により茨城県西部・埼玉県からのお客様が増加傾向にある。
ゴルフ場	60歳～70歳の予約は順調だが、40歳以下は減少傾向である。	
理・美容店	大型スーパーの入店店舗さんの撤退が目立ち始めています。服飾、装飾（ジュエリー等）は特に目立ちます。大型店自体の集客力も落ちていくように感じます。	
クリーニング店	少しでも安いところに行く傾向は進んでいる。（酒類は値上がりしたが）デフレ状態は脱却できていない。	
企業	農業関係者	大企業を中心に景気が上向き傾向と思われ、その反動として、少子高齢化の影響で労働力の確保が難しくなってきた。そのため、将来、このことが景気に悪影響を与えるのではないかと心配である。
	製造業（食料品）	少子化の影響で誕生時のお菓子が少なくなっている。また結婚式用のお菓子も減っている。
	製造業（食料品）	季節的な海水温上昇に伴い魚群の北上が始まっていることから前浜水揚げが減少している。
	製造業（電気機械器具）	人材確保がどんどん困難になってきている。
	製造業（金属製品）	地方経済は、少子高齢化によって、納税者が減少していることを受け市町村財政は苦しい状況にあるようだ！！
	建設業	建設業の高齢化が進むなか新人が入社し、3か月を過ぎると明るい兆しのような気がします。
	建設業	不動産業者兼建設業者さんは土地の優良物件を持っているとすぐ売行きが良いです。すぐ売売になります。（上下水道完備または舗装道路完備）
	運輸業（道路貨物運送業）	荷主にタイムリーに対応するために拘束時間および人数の確保が問題となってきている。
	金融業	国道124号線沿いにショッピングモール進出したことにともない、周辺の交通量が増加し、来店客も多く賑わいを見せている。
	保険業	ガソリンスタンド、観光バス、水産加工会社が廃業した。
雇用	内装工事業	多くの個人商店が廃業している。後継者がいなかったり大型店の出店などの影響が関係しているのか知れない。ただし個人経営の食堂などは、どうにか生き延びているようだ。このまま寂れてしまうのか？
	人材派遣業	茨城国体およびオリンピック（鹿島サッカースタジアム）誘致で鹿行地区の仕事が増えるのではという期待の声あり。
	民間職業紹介業	外国人の就労を政府を挙げて検討していかないと、あらゆる産業で人材不足は否めない。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	以前にもあったが、テレビの影響で、すぐにお客様が反応し、入荷制限がかかる商品がある。
	百貨店、総合スーパー	問4と同じ。自店の客層が年々シニア(50~60代)が増えているがヤングファミリー層も年々上昇傾向。
	家電販売店	まだ修理して使える冷蔵庫やエアコン等例えば5~6年ぐらしか経過していても、お買い替えされる方が増えてきているような傾向がみられます。
	農産物直売所	しかしながら週末は県外のお客様が多い。都会に比べれば新鮮なためまとめ買いをしていく。
	小売業(食品・酒類)	茨城県南エリアも圏央道全面開通に伴う、人の動きが活発化してくると思う。県南エリアでも頻りに宇都宮ナンバー車両が見られ、景気動向に好影響がでてくると感じる。
	小売業(生花店)	幼稚園の建屋新築や新築構想の話が出ており、少子化対策を予算の影響が出てきたのかもしれない。購入層は30代40代の主婦が多く10代・20代の女性は、スマホばかり見ている、店頭展示商品に見向きもしない。全く興味がない様子で、将来の購買層の先細りを感じる。
	小売業(米穀)	秋篠宮真子様のご婚約発表で、ブライダル業界が盛り上がっているそうです。娘の成人式の衣装も2年前ながら、営業の電話が凄いです。仕掛けが早いです。(笑)相変わらずの人手不足で(飲食業)注文はタブレット、会計も自動(無人)というお店が増えてきたように感じます。アメリカのショッピングモール、5年後には四分の一閉鎖という衝撃的な予測があります。実際、この予測が当たるかどうかは解りませんが、そんな気がします。スマホで、何でも、安く買える物が出来すからね。
	和食食堂	安いか高いか値段が極端にある。観光シーズンを除けばお客様の数が少ない。
	和食食堂	気温もあるがアルコール出数が高い。客単価が上がっている。
	日本料理店	稀勢の里の影響もあり、牛久近辺、大仏など人が多く出ているようです。観光バスの動きが増えたようにも思われます。
	洋食食堂	コンビニの閉店が市内に見られるが場所を移して開店しているというオーナーもいるので何とも判断つかない。
	寿司店	禁煙の話がときどきニュースにですが当店はタバコを吸う人が多数います。私は吸いませんが禁煙になったらこまっちゃうネー。
	都市型ホテル	ビアガーデンもまもなくスタート、天候が気になりますが、スタート前の予約状況や問合せは、いつもと比較してあるように思える。メディアの影響もあり、天候が良い日は予約してくる数も多くあります。
	旅行代理店	知人、知り合いのなかには、商売の引き受け手(2代目、3代目)がなく一代限りで廃業だよとつぶやくかたも見受けられる。先の景気の不安さから継がせられないとの見方もあるかも。
	タクシー運転手	ショッピングモールの平日の駐車場台数が減っているように感じる。
	サービスエリア	特筆する動き等は見られません。
	ゴルフ場	建設、土木などの業種に人手不足ながら好況のような話を聞いている。
	ゴルフ場	女子プロゴルファーの宮里 藍選手が今季限りの引退を表明したサントリーオープンの初日は6735名、2日は9405名と過去最高の来場者だったそうです。引退は寂しいですが、ゴルフに限らず政治でも経済でもスターがいるということは景気に活気が出ると思います。
	工場見学案内	ギフトショップの売上げは従来、概ね見学総来場者数に連動しており、4-6月の売上げも質問2の回答の通り来場者増も寄与しているが、売上げの伸びが来場者数の伸びを大幅に上回っている。即ち、4-6月の売上げに関する特徴的な動きは“客単価の大幅アップ”といえる。これは質問1の回答をやや良くしているとした判断材料の1つでもある。
	ボウリング場	圏央道の開通で県西・県南地区における人の流れの変化に期待する。
	レジャー施設	駅ビルやロードサイドなどの空き店舗の入居者がなかなか見つからないようだ。
	理・美容店	お客様で新車を買う方で残クレという買い方で買っている人が増えている。仕組みは良く分からないけど、売り方ひとつで買う方も増えるのだなと思いました。
	理・美容店	ショッピングモールのテナントがどんどん減っていく。
住宅設計販売	人手不足で人材確保ができません。残業が多くなりがちです。	
住宅販売会社	TX沿線できかに良い土地をみつけられるかが重要になってきている。	
企業	農業関係者	若者の旅行、飲み会等でのコミュニケーションは減少しています。
	製造業(家具・装備品)	当商店会でも長い歴史のある薬局さんが今月にて閉店とのこと組合員は暗い表情です。やはり小さな店ではこれからどうなることかと先が思いやられます。
	製造業(印刷業)	茨城県内の工業団地での新設工場設立待ちにより、準備中となっているところもあるようです。
	製造業(非鉄金属)	在庫調整局面、受注の伸びが感じられない。人手不足感あり、求人にも人が集まらない。
	建設業	一時近辺で住宅関係の新築、改修工事が多くみられたが今は一段落している。公共水道の老朽化が進み配管の入れ替え工事がここ数年数多く出ている。水道関係は年度始めからかなり出ているので下請けを含めて水道業者は景気が良さそうだ。建設業と言っても業種によって、温度差があるような気がする。
金融業	高安関が新大関となり、牛久市の稀勢の里の横綱昇進に続いて、土浦市もテレビ等のメディアに大々的に取り上げられ、市内も活況を呈している。川口運動公園野球場がJ:COMスタジアム土浦の愛称で、リニューアルオープンし、高校野球の予選会等で多くの観客が集まり、市内商店街への還元も見込まれる。霞ヶ浦の保全・再生プロジェクトにより、豊かな環境を見直し魅力あるまちづくりを目指している。	
雇用	人材派遣業	人手不足が顕著に表れている。
	公共職業安定所	特に目立った動きはないが、10名程度の離職者が発生した事業所はあるが、業種はバラバラであって、景気の影響によるものではないと判断する。
	学校就職関係者	観光地では半数が外国から来られている方になってきているので海外の方々にかかってくるか課題だと思う。茨城は東京から近いので、東京観光ついでに寄ってもらえるよう、海外向けの情報発信や現地での対応ができればと思います。茨城の日本の昔の姿を今に伝えること(そば・日本酒・焼き物など)が活かせると思います。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	ますます必要な物にしか金を出さなくなっている。お客様の買い方が、非常に細かい。
	商店街代表者	洋品店の友人、和菓子屋さんの友人、食料品店の私、5月はいままででない悪い売上げと話が一致。世間の不景気の波が本当に押し寄せた感じです。
	スーパー	お客様のご来店が以前より特売時に集中している状況です。
	製茶販売	お中元・お歳暮など日本独自の行事(?)にお金を使わなくなったし行わない家庭も増えたと思う。そのくせ海外旅行などには行く家庭もあるし昔では考えられない価値観に代わってきているのかも。
	和食食堂	暇な日に配達で街中に出ると、通りに車や人が少なかったりするのには景気に関係があるのかもしれないと考えています。
	日本料理店	節約傾向が高まり、来店客数、客単価が伸びない。
	飲食業	若い方々の顧客を増やすことがなかなかできません。高齢の方々は、外出が難しくなったのでしょうか?来店者数が減っています。
	都市型ホテル	6月より酒税法が改正され弊社もそれに伴い、多少価格を値上げ致しましたが、それでも苦しいことには変わりはありません。10月に近くで、数十年ぶりに大きなイベントが控えておりますので、集客が見込めると感じています。
	旅行会社	物を買うにしても、旅行にしても、インターネットを介しての個人消費が目立ち店を構えての商売は厳しい状況にある。
	旅行代理店	野菜は、春～夏にかけて出回ってきているので普通の値段かと思います。農家の米は、もう少し高くならなければ農家は食べていけないと言っていた。旅行参加者が増えるように、また消費者が安心して生活できるように景気回復が必要です。老後の生活が不安だと訴える中年～高齢(60代)が大変多い。まずは年金を減らさないことです。
	タクシー運転手	景気回復に伴い、本社が都内に移転する企業もある。
	ドライブイン	機械製造業は残業が多いようで景気が良さそうに見える。
	ゴルフ場	圏央道の交通量が多くなっている。トラック、運搬車の稼働率が良く感じる。
	理・美容店	どの職業も同じようではあると思うが、人手が足りないという声が多い。
住宅販売会社	圏央道開通の影響は、今後長いスパンで見れば景気に影響を与えそうだが、直近ではまだ出てこない。	
企業	農業関係者	大手貨物自動車製造会社の生産拠点が本格稼働するため衣食住全般において人口増加による消費拡大が見込まれます。
	製造業(印刷・関連業)	テレビのニュースや新聞を読んでいると、政治的にも経済的にも昭和30年代～50年代、アメリカに追いつき・追い越せと一生懸命汗を流し、頭を使って世界2位の経済大国になった日本はどこにいったのかと心配だ。大手電機メーカーが続いて外国企業にM&Aされてしまうかも。(まだ決定ではないが)平和ボケを誰かが直してくれないと大変だ。
	製造業(印刷・関連業)	当業種に限らないが、ほんの一部は上昇傾向というが、大部分は低下傾向にあると感じる。得意先の状況がすぐに反映される業種ゆえと思うが、周囲でも廃業に向かっているような同業者が多い。現状維持のみで、将来への展望が開けにくいというのが、業種を問わず増加している。
	製造業(窯業・土石製品)	先日当社の顧問税理士が見えられ、いろいろな業界の話をされ、隣接市にある金属加工工社が2社倒産したことや当地にある結婚式場兼宴会場が経営が替わったこと、また負債を合法的に少なくするとか、なくす方法を教示して下さいと言う相談が多いと言っていました。これからは、どんな業種においても、営業力のない会社は生き残れないから販売力の活動に考えを変えて下さい、と言われました。
	製造業(金属製品)	素材納入業者の営業担当は「素材が動かなくて怖いようだ!!」と口にしていた。
	製造業(一般機械器具)	物流関連の工場が増えてきている。
	建設業	貨物車の交通量が多く、景気が良くなっているのかなと感じています。全体的には良くなっているような気がします。
	金融業	市で、地域活性化及び市街地の再生による賑わいのある街づくりとして、砂沼周辺地区事業を推進しており、拠点として「Waiwaiドームしもつま」が平成29年4月27日(木)にオープンした。また、同時期に、砂沼湖の南側に「砂沼エントランス(仮)」と称したカフェ及び物産販売店もオープンし、客足も多く感じられていることから、今後、地域が活性化することを期待する。
	不動産業	古河は近年大手自動車会社が進出し、単身用のアパートの建設ラッシュが続いている。ファミリーについては既存のアパート需要が増加。7月8月にはさらに拡大が予想される。
	サービス業(コンサルタント業)	古河市ではトラックメーカーの大手自動車会社が本格稼働を開始しました。それに伴い関連会社等の動きが目立ってきました。大手自動車会社の関連物流センターの創業が目立ち、賑わいは出てきましたが、地元企業による創業ではないので景気を押し上げるほどではないような気がします。
雇用	求人広告	景気は悪くなる予感がしているが、物の値段が上がっている。現在は一部の商品の値上がりだが、その値上がりが多くの商品に波及しないか心配である。まとめ買いなど工夫することも増えている。